

令和5年度 事業報告書



Mission statement

日本赤十字社の使命

わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する
7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、
苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、
いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、
赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、
すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、
互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

目 次

はじめに	1
令和5年度山口県支部事業報告概要	2
1 災害救護体制の充実・強化	3
2 健康・安全のための知識・技術の普及	14
3 青少年赤十字活動	17
4 国際活動	23
5 赤十字奉仕団による活動	26
6 赤十字思想の普及	34
7 赤十字活動資金の確保	39
8 医療事業	42
9 看護師の養成	46
10 血液事業	47
11 評議員会及び監査	52
[巻末]	
決算資料	53～57
資料編	58～68

はじめに

平素より日本赤十字社山口県支部・施設の活動に、格別のご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震は、甚大な人的、物的被害をもたらしました。犠牲になられた方々に衷心より哀悼の意を表しますとともに、すべての被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。

日本赤十字社は、発災直後から医師や看護師、事務管理要員からなる救護班や災害医療コーディネーターチーム、こころのケア班を派遣して、行政機関と連携しながら避難所での巡回診療、健康状態や生活環境の確認を行うなど、被災地支援に取り組んでまいりました。山口県支部からも、救護班3班、災害医療コーディネーターチーム2チーム、こころのケア要員3名を被災地に派遣し、救護活動に当たりました。

また、日赤職員はもとより、多くの赤十字ボランティアの協力により、毛布や安眠セットなどの救援物資を配布する活動も実施しました。皆様からのご寄付や赤十字ボランティアのお力なしにこれらの活動はなしえませんでした。改めて深く感謝申し上げます。

被災地は現在、復興・復旧のフェーズに移行しており、長期にわたる支援が必要です。日赤はこれからも、被災地に寄り添った支援を継続してまいります。

能登半島地震災害の対応で終わった令和5年度でしたが、山口県支部・施設の事業・活動を振り返りますと、支部事業や血液事業では、コロナの影響により縮小を余儀なくされていた講習事業の拡大や「けんけつキッズスクール」の再開、新たな防災プログラムの実施など、コロナ禍前の状態に近づき、また、新たな取り組みにもチャレンジできた1年でもありました。

医療事業では、山口赤十字病院の新病棟関連工事が全て終了し、小野田赤十字病院では、経営改革の取組が続きました。

一方、海外では、この1年も、残念ながら多くの人道危機を見ることとなりました。ウクライナでの戦禍は収まらず、10月にはイスラエル・ガザ地区で武力衝突が勃発、モロッコやアフガニスタンでの地震、リビアの洪水などでも多くの人が犠牲になり、現在も厳しい状況におかれています。日赤は、世界の赤十字社・赤新月社と協力して、現在も救援・復興支援を展開しているところです。

こうした内外における日赤の活動は、日赤の活動に心を寄せてくださる皆様に支えられています。皆様から寄せられる寄付や献血、ボランティア活動は、単なる資金や血液、労働力の提供ではありません。そこには「困難な状況にある人たちを助けたい」という温かいお気持ちが込められています。

私たちは、そのお気持ちにお応えできるよう、今後とも、災害救護活動、健康・安全講習の普及、青少年赤十字の育成、医療・血液事業など、赤十字の日々の活動を途切れることなく続けてまいりますので、皆様には引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社山口県支部

令和5年度 山口県支部 事業報告概要

●災害救護

- ・令和6年能登半島地震災害への対応
- ・令和5年6月30日からの大雨災害への対応
- ・防災・減災に関する知識・技術の普及
(年間24回、受講者973名)



●講習事業

- ・目標受講者1万人超を達成(年間343回)
- ・コロナ禍で開催できなかった水上安全法を本格的に再開
- ・講習指導員の資質向上のための研修会等を実施



●青少年赤十字活動

- ・賛助奉仕団と連携した加盟園・校拡大の取組を実施
(6校増)
- ・2泊3日のリーダーシップ・トレーニング・センターを再開
- ・高校生オンラインセミナーを継続(8回、延べ417名)
- ・本社主催の青少年赤十字国際交流事業に参画



●国際活動

- ・開発協力事業地(ルワンダ共和国)への職員派遣
- ・アジア・大洋州に対する支援事業に参加
- ・海外救援金の募集



●赤十字奉仕団による活動

- ・ボランティアリーダーの養成、団員に対する研修会等を実施
- ・奉仕団相互の連携を促進
- ・新たな活動助成制度による地域奉仕団に対する活動支援



●赤十字思想の普及・赤十字活動資金の確保

- ・広報誌のリニューアル、配布先の拡大
- ・赤十字運動月間広報イベントの実施
- ・5年連続で活動資金募集目標2億円超を達成



1 災害救護体制の充実・強化

日本赤十字社が取り組む災害救護は、自らが達成すべき人道的任務です。

山口県支部では、頻発化・激甚化・広域化する災害に備え、常備救護班等や災害医療コーディネートチームを編成し、訓練や研修を行うとともに、必要な資器材の整備・更新を行うなど、災害救護体制の維持・強化を図りました。

(1) 令和6年能登半島地震災害の対応

令和6年1月1日に石川県能登地方を震源に発生した令和6年能登半島地震では石川県能登地方周辺で震度6弱以上(志賀町、輪島町で最大震度7)の揺れや珠洲市や輪島市等の沿岸部では津波が押し寄せるなど北陸地方の各地で甚大な被害が発生しました。

日本赤十字社では発災当日から総力をあげて災害救護活動を行い、山口県支部でも医療救護班や日赤災害医療コーディネートチーム、こころのケア要員等を現地へ派遣するとともに、県赤十字防災奉仕団員による支部支援活動が実施されました。

①救護班等の派遣

派遣班	派遣数	派遣期間	派遣場所
医療救護班	第1班(9名)	1月18日～23日	七尾市、志賀町
	第2班(10名)	2月3日～7日	七尾市
	第3班(8名)	2月16日～20日	七尾市
日赤災害医療コーディネートチーム	第1チーム(3名)	1月25日～30日	能登町
	第2チーム(3名)	2月9日～14日	石川県庁
こころのケア要員	要員(1名)	1月25日～30日	七尾市
	要員(1名)	3月13日～19日	輪島市
	事務職(1名)	4月2日～8日	輪島市



②支部活動支援

活動奉仕団	活動内容	活動期間	活動人数
山口県赤十字防災奉仕団	救護車両回収	3月7日～8日	3名
	救護資材の整理	2月21日	2名



(2) 令和5年6月30日からの大雨災害の対応

6月30日の夜遅くから1日未明にかけて下関市や美祢市では1時間に100ミリを超える猛烈な雨を観測するなど、山口県西部・中部で大雨が降り美祢市、山口市では河川の増水による住宅浸水被害が発生しました。

山口県支部では、地区・分区による避難者への救援物資の配布を行うとともに、県赤十字防災奉仕団員が美祢市の浸水した住宅の家財の撤去などの活動を行いました。

①救援物資の配付

	美祢市地区	宇部市地区	山陽小野田市地区	合計
毛布	248枚	96枚	—	344枚
安眠セット	21個	—	2個	23個
緊急セット	21個	—	1個	22個
バスタオル	—	—	2枚	2枚

②防災ボランティア活動

派遣期間	派遣奉仕団
7月13日～15日	山口県赤十字防災奉仕団 延べ3名



(3) 救護班の編成、救護員の訓練・研修の実施

①救護員の登録と救護班の編成

災害発生後、直ちに医療救護活動ができるよう、支部・施設から職員を救護員として登録するとともに、山口及び小野田赤十字病院に医師、看護師等による常備救護班 8 個班を編成しました。

【救護員の区別登録者数および施設別救護班編成状況】(令和 6 年 3 月 31 日現在) (単位: 名)

区分 施設	常備救護班 編成数	災害対策 本部要員	救護班要員						血液供給要員	支部災害対策 本部支援要員	合計
			医師	看護師長	看護師	主事	薬剤師	助産師			
支部	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	9
山口赤十字病院	6 個班	6	12	12	24	24	2	2	—	6	88
小野田赤十字病院	2 個班	3	2	4	8	14	2	—	—	—	33
血液センター	—	7	—	—	—	17	—	—	9	4	37
合計	8 個班	25	14	16	32	55	4	2	9	10	167

【救護班 1 個班の編成基準】

医師 (班長)	看護師長	看護師	主事 (事務)	計
1 名	1 名	2 名	2 名	6 名

※第 1 班には、薬剤師 1 名を加える。

②日赤災害医療コーディネーターチームの編成

大規模災害時の医療ニーズの把握や本社・支部の災害対策本部に対する助言、被災地自治体保健医療調整本部との連携・調整を図るための災害医療コーディネーターチームを山口及び小野田赤十字病院に 3 チーム編成しました。

施設名	コーディネーター (医師)	コーディネータースタッフ (看護師、薬剤師、事務職員)	チーム数
山口赤十字病院	3 名	6 名	2 チーム
小野田赤十字病院	1 名	3 名	1 チーム

③DMAT（災害派遣医療チーム）の編成

災害急性期（概ね発災後 48 時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームを山口赤十字病院に 2 チーム編成し、県内外で発生する災害に備えました。

施設名	チーム数	医師	看護師	業務調整員	合計
山口赤十字病院	2 チーム	2 名	6 名	4 名	12 名

④救護員の訓練・研修

赤十字の使命である災害救護活動を迅速かつ的確に実施するため、救護訓練への参加や救護員のための研修会を通じて救護知識の習得と技術の向上を図りました。

【災害救護訓練】

訓練名	開催月日	主催	会場	参加者数
山口県総合防災訓練	6 月 4 日	訓練実行委員会	萩市	5 名
救護員としての赤十字看護師研修総合演習	11 月 21 日	日本赤十字社 山口県支部	日本赤十字社 山口県支部	15 名
日本赤十字社中国・四国各県支部合同災害救護訓練	11 月 9 日 ～10 日	日本赤十字社 愛媛県支部	日本赤十字社 愛媛県支部ほか	9 名
山口県地域保健医療福祉調整本部設置・運営訓練	1 月 30 日	県健康福祉部 医療政策課	長門健康福祉センター	1 名
山口県支部災害救護訓練	中止	日本赤十字社 山口県支部	中止	—

【災害救護研修】

研修名	開催月日	主催	会場	参加者数
救護員登録研修	5 月	日本赤十字社 山口県支部	オンライン	91 名
救護員主事基礎研修	9 月 13 日	日本赤十字社 山口県支部	日本赤十字社 山口県支部	24 名
日赤災害医療コーディネーター研修会	7 月 8 日 ～9 日 9 月 21 日 ～22 日	日本赤十字社	日本赤十字社 本社	各 1 名

研修名	開催月日	主催	会場	参加者数
救護員としての赤十字看護師研修	2月～11月	山口・小野田 赤十字病院	日本赤十字社 山口県支部	15名
こころのケア指導者養成 研修会	10月11日 ～12日	日本赤十字社	日本赤十字社 本社	1名
原子力災害対応基礎研修会	12月4日 ～5日	日本赤十字社 徳島県支部	あわぎん ホール	5名
全国赤十字救護班研修会	中止	日本赤十字社 広島県支部	中止	—
中国・四国ブロック 災害対策本部要員研修会	中止	日本赤十字社 鳥取県支部	中止	—
日赤災害医療コーディネート フォローアップ研修会	中止	日本赤十字社	中止	—
こころのケア指導者フォロー アップ研修会	中止	日本赤十字社	中止	—



山口県総合防災訓練



救護員としての
赤十字看護師研修



日本赤十字社中国・四国各県支部
合同災害救護訓練

(4) 救護装備の整備

災害時等に迅速・的確に対応するための救護装備の維持管理・更新整備を行いました。令和5年度は、エアテント1張、発電機3台、投光器3台を整備しました。

【救護用資機材保有数】

品目	支部	病院	血液センター	合計
医療セット	2セット	2セット		4セット
パイプテント	8張			8張
ドラッシュテント	2張			2張
エアテント	2張	1張		3張
担架	20台	3台		23台
折畳寝台	33台	9台		42台
発電機	5台			5台
蓄電池	5台			5台
投光器	4台			4台
折畳テーブル	4台			4台
折畳ホワイトボード	2台			2台
個人線量計	28個			28個
サーベイメーター	1個			1個
NBC除染セット	1セット			1セット
衛星電話	5台	2台	2台	9台
無線(150MHz)	18台	6台	5台	29台
無線(400MHz)	12台	4台		16台

【救護用車両保有数】

車両種別	支部	山口赤十字病院	小野田赤十字病院	合計
救急車	1台	1台	1台	3台
災害救援車	7台	1台		8台
合計	8台	2台	1台	11台

○AEDの整備

地区・分区の要請に応じ公共施設等へAEDを設置しています。令和5年度も耐用年数を経過したAEDの更新整備を行いました。

【AEDの整備台数】(単位:台)

年度	H19~26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
新規	125	6	7	7	1	0	0	0	1	0	147
更新	27	22	18	14	12	2	13	27	2	38	175

(5) 救援物資の備蓄

赤十字では、災害の発生に備えて救援物資を備蓄しており、被災者へ速やかに配布できるよう、一部を地区・分区に分置しています。令和5年度も地区・分区の要請に応じて対応しました。

【備蓄数】

	毛布	緊急セット	安眠セット	バスタオル	タオルケット
地区分区	4,721枚	522セット	405セット	1,171枚	0枚
小野田赤十字病院	290枚	726セット	36セット	0枚	500枚
山口県支部	340枚	372セット	24セット	485枚	800枚
合計	5,351枚	1,620セット	465セット	1,656枚	1,300枚



毛布



緊急セット



安眠セット



バスタオル

(6) 臨時救護

公式な式典、大会等に際して、参加される多くの人々の万が一に備えるために、令和5年度も救護員を派遣しました。

【実施内訳】

主催者等	回数 のべ日	主な行事名	主な 派遣場所	のべ 派遣数
山口県	1回/3日	山口県南方地域戦没者 「防長英霊の塔」慰霊祭	沖縄県	1名
山陽小野田市	11回/11日	やけの美タフェスタ ほか	山陽 小野田市	11名

主催者等	回数 のべ日	主な行事名	主な 派遣場所	のべ 派遣数
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用 支援機構	1回/1日	アビリンピックやまぐち	山口市	1名
公益財団法人山口県 体育協会	2回/2日	やまぐち未来 アスリートチャレンジ	山口市	2名
一般財団法人山口陸上 競技協会	1回/1日	第52回全日本実業団ハーフ マラソン大会	山口市	1名
	1回/1日	山口県読売駅伝 2024		2名
山口青年会議所	1回/2日	青空天国いこいの広場	山口市	5名
山口県障害者スポーツ 大会運営委員会	1回/1日	全国障害者スポーツ大会 派遣選手選考委員会	山口市	3名
山口商工会議所	2回/3日	山口七夕ちょうちんまつり	山口市	3名
NHK山口放送局	1回/2日	学校音楽コンクール	山口市	2名
公益財団法人 山口県消防協会	1回/1日	山口県消防操法大会	山口市	1名
ツール・ド・しものせき 実行委員会	1回/1日	ツール・ド・しものせき 2023	下関市	5名
日本赤十字社 山口県支部	2回/6日	青少年赤十字リーダーシップ・ トレーニング・センター	下関市 山口市	2名

(7) 災害被災者支援

県内で災害等の被害にあわれた方々に対して、毛布・緊急セット・バスタオル等の救援物資を配布しました。また、災害により死亡された方のご遺族に対して弔慰金を交付しました。

【配布数】

	毛布	緊急セット	安眠セット	バスタオル
配布数	364枚	36セット	32セット	21枚

【死亡者弔慰金】

件数	交付金額
12件	240,000円

(8) 義援金の募集

国内の災害に際し、義援金を募集し、被災地の支部に送金しました。このうち令和5年6月30日からの大雨災害義援金は、山口県が設置した義援金配分委員会に送金しました。

義援金区分	件数	金額
令和5年5月能登地方地震災害義援金	28件	288,329円
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	29件	209,844円
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	324件	87,567,828円
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	48件	463,586円
令和5年台風第6号災害義援金	14件	134,469円
令和5年台風第13号災害義援金	14件	121,212円
令和6年能登半島地震災害義援金	740件	138,140,335円
合計	1,197件	226,925,603円

(9) 防災・減災の普及・啓発

地域の防災に関する知識・意識の向上と自助・共助の力を高めていくことを目的に、赤十字防災セミナー等広く県民を対象とした防災・減災の知識・技術の普及に取り組みました。

①赤十字防災セミナー・講習の実施

赤十字防災セミナー等の開催を希望する自治会、学校、企業等に対し、積極的にその要請に対応しました。

【防災セミナー・講習の実施状況】

受講団体等	実施日	受講者数	講習内容
コープやまぐち理事会	6月6日	16名	家具安全対策ゲーム
岩国牛野谷さくらグループ	6月17日	30名	家具安全対策ゲーム
山口県青年(学生)赤十字奉仕団	7月17日	18名	家具安全対策ゲーム
岩国市民生委員児童委員福祉委員協議会	7月20日	24名	災害への備えについて
山口県日赤紺綬有功会、山口市民等	7月26日	93名	家具安全対策ゲーム

受講団体等	実施日	受講者数	講習内容
宇部市あかり園	7月26日	30名	災害への備えについて
災害ボランティアかがわ会員	8月4日	30名	家具安全対策ゲーム
山口県立山口総合支援学校 生徒、教員	8月18日	21名	非常食の炊出し
周南市熊毛防災キャンプ参加者	8月26日	33名	非常食の炊出し 家具安全対策ゲーム
下関市赤十字奉仕団	8月28日	15名	非常食の炊出し
防府市赤十字奉仕団	9月5日	20名	災害への備え 家具安全対策ゲーム
吉敷つどいの広場楽楽楽	9月15日	20名	非常食の炊出し
柳地域住民	10月29日	40名	災害への備え 家具安全対策ゲーム
嘉川地域住民	11月3日	40名	家具安全対策ゲーム
介護福祉士等届出登録者等	11月8日	30名	避難生活支援講習 非常食の炊出し ロープワーク
下松市立下松小学校	11月8日	104名	大雨防災ワークショップ
西畑地区自治会、住民	11月25日	30名	非常食の炊出し 毛布ガウン 避難所で役立つ技術
鶴の島自治会婦人部	12月3日	20名	災害への備え
山口県赤十字奉仕団	12月7日	44名	ひなんじょたいけん
柳地区自治会防災委員、 地域住民	12月10日	60名	非常食の炊出し 避難所で役立つ技術
山口県国際総合センターの入居 テナント、下関市内の関係企業	1月23日	100名	家具安全対策ゲーム
下松市立下松小学校保護者	1月24日	40名	家具安全対策ゲーム
下関市赤十字奉仕団	2月5日	45名	非常食の炊出し
白石地域住民	3月3日	70名	非常食の炊出し 災害への備え
合計	24回	973名	

②青少年赤十字加盟校との連携

青少年赤十字加盟校と連携して防災に関する公開授業（SDGs 防災教育プロジェクト）を実施しました。

学校名及び学年	内容
山口市立小郡小学校 4 学年	大雨防災ワークショップ、避難所体験
山口市立白石中学校 3 学年	家具安全対策ゲーム、災害への備え



小郡小学校

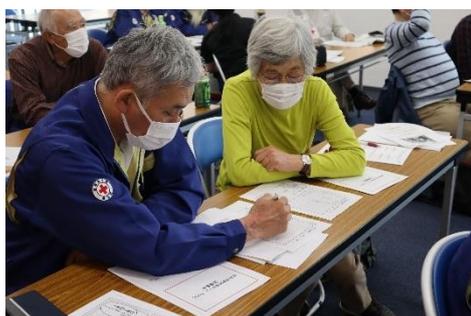


白石中学校

③赤十字防災セミナー等の実施体制の充実・強化

赤十字防災セミナーに新たに追加されたプログラムの指導法を指導員に伝達するため、防災奉仕団員を対象に研修会を実施しました。

研修名	実施時期	会場	参加者数
第 1 回山口県赤十字防災奉仕団研修会	4 月 22 日	日本赤十字社山口県支部	13 名
第 2 回山口県赤十字防災奉仕団研修会	9 月 24 日	日本赤十字社山口県支部	18 名



2 健康・安全のための知識・技術の普及

日本赤十字社では、「人間の苦痛を予防・軽減し、生命の尊厳を確保する」という赤十字の理念を、具体的な知識や技術として一般の人々に広めることを目的として、『いのちを守る赤十字講習会』を開催しています。

令和5年度は、受講者10,000人を目標に講習会を開催しました。

《講習の種類と内容》

講習名	講習内容
救急法	基礎講習…心肺蘇生、AEDの使い方、気道異物除去 等 救急員養成講習…急病・けがの手当（止血・包帯・固定）、搬送 等
水上安全法	泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助および応急手当、海・河川・湖沼での事故防止等
健康生活支援講習	誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や、高齢者の支援・自立に役立つ介護技術等
幼児安全法	こどもに起こりやすい事故の予防と手当、こどもの病気と看病、こどもに対する心肺蘇生及びAEDの使い方等
家庭あんま術	病気の予防や疲労回復などの健康増進を目的とした、家庭のできるあんま術の知識と技術



救急法



水上安全法



健康生活支援講習



幼児安全法

(1) 各種講習の実施

区分	実施時期	実施回数	受講者数
救急法基礎講習	通年	14回	322名
救急法救急員養成講習会	通年	10回	234名
救急法短期間講習	通年	282回	9,323名
水上安全法救助員Ⅰ養成講習会	8月～9月	1回	9名
水上安全法短期間講習	7月、8月	8回	366名
健康生活支援員養成講習	6月、11月	2回	19名
幼児安全法支援員養成講習会	9月	1回	7名
幼児安全法短期間講習	通年	24回	434名
家庭あんま術講習	通年	1回	20名
合計		343回	10,734名

(2) 講習普及指導員の育成・養成

講習普及指導員の資質の向上を図るため、研修会を実施しました。また、救急法指導員を養成する講習を実施し、指導員の確保に努めました。

【講習別指導員内訳】

区分	人数	令和5年度養成者数
救急法指導員	172名	3名
水上安全法指導員Ⅰ	5名	—
水上安全法指導員Ⅱ	20名	—
健康生活支援講習指導員	40名	—
幼児安全法指導員	69名	—

【講習指導員の育成】

研修名	実施時期	会場	参加者
救急法指導員研修会	5月20日	山口県総合保健会館	68名
健康生活支援講習指導員研修会	9月3日	日本赤十字社山口県支部	19名
幼児安全法指導員研修会	9月3日	日本赤十字社山口県支部	30名

【救急法指導員養成講習会】

プログラム	日程	養成者
事前説明会・研修会	11月25日	4名
養成講習	12月9日、10日、11日、17日、18日	3名
新任指導員研修会	1月12日	

(3) 講師の養成

指導体制の充実を図るため、健康生活支援講習の講師を1名養成しました。

【講師在籍状況】

講習種別	養成者数	在籍数
救急法	—	5名
健康生活支援講習	1名	2名
幼児安全法	—	2名

3 青少年赤十字活動

赤十字精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年を育成するため、学校教育の中で青少年赤十字活動が行われています。学校においてこの活動が活発に行われるよう加盟園・校の拡大を進めるとともに、指導体制の充実や青少年赤十字メンバーの資質の向上に努めました。

(1) 加盟園・校の拡大と活動の充実

①加盟園・校の拡大

各市町での教員の集まる機会などに職員や賛助奉仕団員が訪問し、加盟促進を図りました。

区 分	令和4年度 加盟園・校	令和5年度			(参考) 令和5年度 JRC加盟率
		加盟園・校	新規	脱退等	
幼稚園	17園	17園	—	—	
保育園	2園	3園	1園	—	
小学校	96校	104校	10校	2校	38.2%
中学校	33校	32校	1校	2校	23.3%
高等学校	37校	35校	—	2校	48.6%
総合支援学校	1校	1校	—	—	8.3%
全 体	186園・校	192園・校	12園・校	6校	34.9%

※加盟率は、山口県内の学校数（令和5年度山口県教職員録より）を分母として算出

②活動助成

県下の加盟園・校が青少年赤十字の実践目標「健康・安全、奉仕、国際理解・親善」及び態度目標「気づき、考え、実行する」に基づく学校単位で行う地域活動・研修等に対して、開催経費の一部助成を行いました。

【令和5年度の助成状況】

区分	助成件数	区分	助成件数
宿泊活動	36件	地域交流学習	2件
清掃活動	16件	保健活動	2件
野外体験学習	6件	防災学習	3件
緑化活動	3件	計	68件

(2) 指導体制の充実

県教育委員会や加盟園・校の指導者で組織する指導者協議会の支援を得て、今後の活動充実と活性化を図るための会議・研修を行いました。また、日赤本社や他県が主催する協議会・研究会に指導者を派遣しました。

会議・研修名	実施時期	会場	参加者数
山口県青少年赤十字高等学校指導者協議会 校長会	6月2日	かめ福オンプレイス	36名
山口県青少年赤十字幼保・小・中学校指導者協議会 園長・校長会	6月8日	山口県健康づくりセンター	76名
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6月30日	日本赤十字社本社	2名
青少年赤十字指導者研修会	7月1日	日本赤十字社広島県支部	3名
中国・四国ブロック青少年赤十字指導者協議会長並びに事務担当者会議	11月9日～10日	香川県高松市	3名
指導主事対象青少年赤十字研究会	1月12日	日本赤十字社本社	1名
山口県青少年赤十字研修会	1月26日	(WEB開催)	105名

(3) 青少年赤十字メンバーの資質の向上

各校や地域における青少年赤十字活動の中核となる児童・生徒のリーダーを養成しました。

①リーダーシップ・トレーニング・センター等の実施

令和5年度は、山口県支部主催のリーダーシップ・トレーニング・センターを小学校・高等学校は4年ぶりに2泊3日で開催しました。なお、中学校は台風接近に伴い中止となりました。

また、高等学校では、県を4地区に分け、その地区ごとに企画される地区トレーニング・センターが3地区で実施されました。

研修名	実施時期	会場	参加者数
高等学校リーダーシップ・トレーニング・センター	8月6日～8日	徳地青少年自然の家	メンバー17名 指導者11名
中学校リーダーシップ・トレーニング・センター	中止		
小学校リーダーシップ・トレーニング・センター	8月2日～4日	下関ユースホステル	メンバー27名 指導者11名
青少年赤十字スタディー・センター	3月22日～26日	本社	メンバー2名

研修名	実施時期	会場	参加者数
高等学校中部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	7月31日	高川学園高等学校	メンバー29名 指導者6名
高等学校東部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	中止		
高等学校南部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	8月1日	宇部市総合福祉会館	メンバー40名 指導者5名
高等学校西部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	5月21日	山口県立豊浦高等学校	メンバー42名 指導者7名



高等学校リーダーシップ・トレーニング・センター



小学校リーダーシップ・トレーニング・センター

②加盟園・校メンバーの活動

県下各園・校において、募金活動、清掃活動、野外活動など、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じて様々な活動が行われました。

更に、高等学校では、県下加盟校全体で組織する協議会を中心に活動の企画・協議が行われ、令和5年度は「繋ぐ」を全体テーマとし、それぞれの学校で活動が行われました。

【高等学校メンバーの活動】

活動内容	実施時期	会場	対象・人数
世界赤十字デー県下一斉ボランティア・サービス (清掃、環境美化、福祉施設訪問活動等)	通年	県下加盟高校校区等	生徒・指導者 18校 443名
山口県高等学校 青少年赤十字学習交流会	8月22日	周南市 学び・交流プラザ	生徒・指導者 12校 50名
山口県高等学校 青少年赤十字協議会総会	9月9日	防長青年館 パルトピア山口	生徒・指導者 15校 48名
高等学校協議会新役員研修会	9月23日	KDDI 維新ホール	生徒・指導者 3校 12名

③赤十字講習・出前授業の実施

青少年赤十字メンバーの実践目標に向けた活動を支援するため、赤十字奉仕団の協力を得ながら赤十字講習や出前授業を行いました。

【講習会】（再掲※）

講習内容	回数	人数（対象：児童・生徒、保護者、教職員等）
救急法	73回	1,609名
防災セミナー等	1回	104名

※P11.(9)「防災・減災の普及・啓発」、P15.(1)「各種講習の実施」の再掲(JRC加盟校分)

【出前授業】

講習内容	回数	人数（対象：生徒）
いのちの尊さについて	1回	109名
JRCセミナー	8回	233名
人権・国際人道法	1回	14名
国際理解・親善	6回	263名
車椅子講習	1回	112名
高齢者疑似体験	2回	230名
令和6年能登半島地震講話	1回	375名
防災教育	1回	29名



高齢者疑似体験（中関小学校）



防災教育（野田学園幼稚園）

④青少年赤十字 SDGs 防災学習プロジェクトの実施（再掲※）

学校の防災意識の向上と青少年赤十字メンバーの自助・共助の力を高めることを目的に、赤十字の防災知識・技術等を学習する公開授業を小中学校各 1 校で開催しました。

学校名及び学年	内容
山口市立小郡小学校 4 学年	大雨防災ワークショップ、避難所体験
山口市立白石中学校 3 学年	家具安全対策ゲーム、災害への備え

※P11.(9)「防災・減災の普及・啓発」、P13.②青少年赤十字加盟校との連携の再掲

⑤高校生オンラインセミナー

高等学校における JRC 活動の活性化を目的に、赤十字事業の理解促進や社会課題を考えるセミナーをオンラインで実施し、多くの高校生メンバーが受講しました。

【高校生オンラインセミナー】

講習内容	回数	人数（対象：生徒）
新メンバー研修	1 回	69 名
全国研修会参加報告	1 回	52 名
気候変動	3 回	163 名
インターネットについて	1 回	40 名
JRC 行事について	1 回	21 名
SDGs について	1 回	72 名
合計	8 回	417 名

(4) 国際交流事業

①国際交流事業 JRC/RCY International Meeting

本社主催の国際交流事業で来日したタイ赤十字社所属のメンバー1名を受け入れ、県内高校生メンバー等との意見交換や文化交流、高校・小学校での学習交流を行いました。

また、全国の高校生メンバーとアジアの10の国と地域から来日した海外メンバーとの国際交流集会には、山口県支部から高校生メンバー1名が参加しました。

○青少年赤十字国際交流事業（山口県内）

実施時期	内容	参加者
11月19日	環境問題の意見交換や文化交流	青奉団員 3名 高校生メンバー 5名
11月20日～22日	華陵高等学校での学習交流	華陵高等学校 1学年
11月22日	下松市立東陽小学校での交流	東陽小学校 5年生



青年奉仕団との交流



華陵高等学校



東陽小学校

○JRC/RCY International Meeting 2023

実施時期	参加者
11月23日～26日	華陵高等学校 JRC メンバー1名

②青少年赤十字海外支援事業（1円玉募金）

ネパールとバヌアツの衛生教育や防災教育などを中心に支援するため、「小学生メンバーたちが自分たちのお小遣いの中から出せる金額での奉仕」として、青少年赤十字海外支援事業（1円玉募金）を実施しました。

件数	金額
2件	8,818円



大殿小学校

4

国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の有力な一員として、地域紛争や自然災害による犠牲者の救援や、発展途上国での保健衛生指導や防災・減災の取り組みなど国際・国内さまざまな活動を行っています。

令和5年度は、開発協力事業地の視察、発展途上国における保健衛生事業への資金援助、地域紛争や被災国を支援するための救援金募集等を行いました。

(1) 開発協力事業地の視察

日本赤十字社が行っているルワンダ共和国での気候変動等に対するレジリエンス強化事業視察のため、本社の募集に応じて職員1名を派遣しました。視察先では現地住民との交流を通じて途上国の実態を学びました。

派遣期間	派遣先国	派遣人数
2月9日～19日	ルワンダ共和国	支部職員1名



(2) 「アジア・大洋州 給水・衛生キット」支援事業

中国・四国各県支部との共同事業として、洪水やサイクロンなどの災害に際し、現地で給水・衛生活動が展開できるよう資金援助を行いました。

【助成金額】

	令和4年度	令和5年度	前年対比
中国・四国各県支部 拠出総額	7,000,000円	7,000,000円	100%
うち、 山口県支部拠出額	901,980円	891,201円	98.8%

(3) 海外救援金の募集

①NHK海外たすけあい

1983年から日本赤十字社とNHKが共同で実施している募金キャンペーンで、海外の紛争や災害等で苦しんでいる人々を支援するために、令和5年度も12月1日から25日の間、募金の受付を行いました。

【受付件数および受付金額】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
総 額	件数	1,494 件	1,568 件	2,498 件	1,476 件	
	金額	7,889,031 円	8,828,844 円	11,402,566 円	13,701,468 円	
内 訳	募金箱	件数	970 件	927 件	921 件	852 件
		金額	924,167 円	1,050,735 円	1,113,774 円	5,896,936 円
	ダイレクト メール	件数	524 件	641 件	1,577 件	624 件
		金額	6,964,864 円	7,778,109 円	10,288,792 円	7,804,532 円



明星幼稚園

②青少年赤十字海外支援事業（1円玉募金） 再掲※

ネパールとバヌアツの衛生教育や防災教育などを中心に支援するため、青少年赤十字加盟園・校へ「1円玉募金」の実施を呼びかけました。

件数	金額
2 件	8,818 円

※P22.(4)「国際交流事業②」の再掲

③その他の救援金

世界各国の赤十字社・赤新月社を通じて被災国の赤十字社に寄せられる「海外救援金」は、国際赤十字機関や被災国の赤十字社が行う被災者支援活動に役立てられます。

令和 5 年度も国際赤十字機関や被災国赤十字社からの依頼に基づいた救援金を募集しました。

救援金区分	件数	金額
2023 年トルコ・シリア地震救援金	100 件	11,256,668 円
2023 年アメリカ・ハワイ火災救援金	26 件	266,698 円
2023 年モロッコ地震救援金	17 件	14,196 円
2023 年リビア洪水救援金	8 件	6,725 円
2023 年アフガニスタン地震救援金	8 件	7,561 円
中東人道危機救援金	20 件	42,093 円
バングラデシュ南部避難民救援金	26 件	108,370 円
アフガニスタン人道危機救援金	24 件	45,911 円
ウクライナ人道危機救援金	252 件	2,676,719 円
イスラエル・ガザ人道危機救援金	39 件	82,034 円
海外無指定救援金	2 件	13,881 円
合 計	522 件	14,520,856 円

5 赤十字奉仕団による活動

赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践するため、地域や活動分野ごとに結成されたボランティア組織であり、その活動は、赤十字運動の普及に欠かせないものです。

令和 5 年度は奉仕団活動の活性化に向けて、奉仕団相互の連携強化を図るとともに、地域づくりに取り組む奉仕団への支援をしました。

また、活動の中心となるボランティアリーダーの育成や団員相互の情報共有・連絡調整のための会議、団員の知識・技術の向上を図る各種研修会等を開催しました。

【山口県の奉仕団結成状況】

奉仕団の種類		団数	団員(登録者)数	特色
地域奉仕団		41 団	7,271 名	主として、市町の婦人会組織等。一定の地域ごとに結成され、赤十字の思想普及、活動資金募集、災害時の救護活動支援等、地域に密着した活動を行っている。
青年（学生）奉仕団		3 団	72 名	青年や学生で組織され、献血推進や社会福祉施設の訪問等の活動を行っている。
特殊奉仕団	安全奉仕団	1 団	148 名	救急法・水上安全法・幼児安全法の指導員で結成され、県民の健康と安全を守るための講習会の指導を行っている。
	アマチュア無線奉仕団	1 団	89 名	アマチュア無線免許保有者で結成され、非常災害時において通信網を確保し、正確かつ迅速な情報の収集と伝達を行うことを目的に活動している。
	青少年赤十字賛助奉仕団	1 団	37 名	青少年赤十字活動の普及や加盟促進を目的に活動しており、青少年赤十字の指導経験者や、目標に賛同された方で組織されている。
	災害救護奉仕団	2 団	88 名	災害時に赤十字が実施する救護活動に協力することや、平時に防災思想の普及を図ることを目的に組織されている。
合 計		49 団	7,705 名	

(1) 赤十字奉仕団相互の連携強化

①赤十字奉仕団山口県支部委員会の開催

地域奉仕団、青年（学生）奉仕団、専門技能を持つ特殊奉仕団の委員長で構成される奉仕団支部委員会を開催し、情報交換や相互の連携強化に向けて意見交換を行いました。

名称	実施時期	会場	参加者
赤十字奉仕団山口県支部委員会	5月24日	日本赤十字社 山口県支部	7名



②赤十字奉仕団相互の連携

地域と密着した活動をしている地域奉仕団を中心に、青年（学生）奉仕団、専門技能を持つ特殊奉仕団が連携して赤十字事業を県内全域へ推進しました。

【奉仕団別の連携事業】

奉仕団名	地域奉仕団との連携事業
青年（学生）奉仕団	献血推進や社会福祉施設の訪問
安全奉仕団	県内全域での救急法等講習会指導・受講促進
アマチュア無線奉仕団	通信訓練及び県・市町防災訓練への参加
災害救護奉仕団	県内全域での防災講習会指導・防災減災意識の向上

③活動を通じた連携強化

研修会や支部主催事業に複数の奉仕団を参画させることで、奉仕団相互の連携を促進しました。

名称	内容	関係団
山口県青年（学生）赤十字奉仕団基礎研修会	被災者支援に関する知識と技術の習得	山口県青年赤十字奉仕団 山口県赤十字防災奉仕団
青少年赤十字 SDGs 防災学習プロジェクト	防災に関する知識と技術の普及	山口県地域赤十字奉仕団 山口県青少年赤十字賛助奉仕団 山口県赤十字防災奉仕団
山口県赤十字防災奉仕団中堅団員研修会	防災に関する知識の習得	山口県地域赤十字奉仕団 山口県赤十字防災奉仕団

(2) ボランティアリーダーの育成

赤十字ボランティア活動の中心となるボランティアリーダーを育成し、活動の更なる充実・拡大を図りました。

○全奉仕団

会議	実施時期	会場	参加者数
赤十字ボランティアリーダー研修会（地域、青年）	8月26日 ～28日	国立オリンピック記念 青少年総合センター	2名

○防災奉仕団

研修名	実施時期	会場	参加者数
赤十字防災ボランティアリーダー養成研修会	9月2日 ～3日	(WEB開催)	1名
防災教育事業指導者フォローアップ研修	9月7日 ～8日	日本赤十字社 大阪府支部	2名

(3) 会議・研修会等の開催

○全奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
支部赤十字奉仕団担当者会議	7月5日	(WEB開催)	支部職員 1名
赤十字奉仕団中央委員会	6月1日 ～2日	日本赤十字社 本社	1名
赤十字奉仕団中央委員会常任委員会	12月1日	日本赤十字社 本社	1名

○地域奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
山口県赤十字奉仕団委員長会議	6月27日	カリエンテ山口	46名
研修名	実施時期	会場	参加者数
中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	11月14日～15日	日本赤十字社岡山県支部	3名
山口県赤十字奉仕団中堅団員研修会	12月7日	カリエンテ山口	44名

地域奉仕団では、主な活動として、5月の赤十字運動月間に合わせ、毎年県下一斉ボランティアを実施していますが、時期を限定せずに年間通して清掃活動や感染防止対策を講じた炊き出し訓練、地域ごとの研修会を行いました。

また、中堅団員研修会ではアレルギーに配慮したメニューと調理工程を考えるペアワークを行ったほか、赤十字防災セミナーの新カリキュラムである「ひなんじょたいけん」を体験しました。



下関市地域奉仕団



中堅団員研修

○青年（学生）奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
令和5年度青年赤十字奉仕団全国協議会（第1回）	5月13日	オンライン開催	団員1名
中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月25日	オンライン開催	県青年奉仕団 委員長 1名 団員 1名 支部職員 1名
山口大学学生赤十字奉仕団年末総会	12月22日	山口大学 共通23番教室	27名 (委任状16名)
山口大学学生赤十字奉仕団新年総会	1月6日	山口大学 共通24番教室	33名 (委任状26名)
令和5年度青年赤十字奉仕団全国協議会（第2回）	2月23日	オンライン開催	団員1名

研修名	実施時期	会場	参加者数
山口県青年（学生）赤十字奉仕団新入団員研修会	6月11日	日本赤十字社 山口県支部	18名
山口県青年（学生）赤十字奉仕団基礎研修会	7月17日	日本赤十字社 山口県支部	14名
中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団研修会	9月23日 ～24日	日本赤十字社 広島県支部	3名
広山交流会	10月7日 ～8日	萩アクティビティ パーク他	13名
山口県青年(学生)赤十字奉仕団リーダー研修会	2月10日	日本赤十字社 山口県支部	6名

例年実施している献血推進活動は学内・街頭献血の呼びかけを月1回程度実施しました。



○安全奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者
山口県赤十字安全奉仕団総会	5月20日	山口県総合 保健会館	68名
山口県赤十字安全奉仕団役員会	3月30日	日本赤十字社 山口県支部	13名
研修名	実施時期	会場	参加者
救急法指導員研修会	5月20日	山口県総合 保健会館	68名
健康生活支援講習指導員研修会	9月3日	日本赤十字社 山口県支部	3名
幼児安全法指導員研修会	9月3日	日本赤十字社 山口県支部	22名

各講習会における安全奉仕団員の指導協力回数

講習区分	講習回数（団員協力／全講習数）	協力団員（実人数）
救急法	217回／306回	69名
水上安全法	8回／9回	13名
幼児安全法	16回／25回	7名



○アマチュア無線奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
山口県赤十字アマチュア無線奉仕団総会	4月9日	日本赤十字社 山口県支部	41名
山口県赤十字アマチュア無線奉仕団役員会	3月16日	日本赤十字社 山口県支部	12名
研修名及びクラブ局運用	実施時期	会場	参加者数
山口県赤十字アマチュア無線奉仕団 研修会・クラブ局運用	4月9日	日本赤十字社 山口県支部	37名
山口県赤十字アマチュア無線奉仕団 クラブ局運用	6月4日	萩市役所	15名

全国の赤十字アマチュア無線奉仕団との通信訓練を9回行いました。



○青少年赤十字賛助奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7月11日 ～12日	日本赤十字社 本社	1名
山口県青少年赤十字賛助奉仕団総会	9月19日	日本赤十字社 山口県支部	8名
中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月26日 ～27日	日本赤十字社 愛媛県支部	2名

各市・町校長会などでの加盟促進、加盟校での人権講和を行いました。



大殿中学校

○災害救護奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
山口県赤十字防災奉仕団役員会・総会	4月22日	日本赤十字社 山口県支部	17名
研修名	実施時期	会場	参加者数
第1回山口県赤十字防災奉仕団研修会	4月22日	日本赤十字社 山口県支部	13名
第2回山口県赤十字防災奉仕団研修会	9月24日	日本赤十字社 山口県支部	18名

防災講習における防災奉仕団員の指導協力回数

講習回数（団員協力／全講習数）	協力団員（延べ人数）
19回／22回	36名



下松小学校



防府市役所

(4) 災害に対する奉仕団活動

①令和5年6月30日からの大雨災害

活動内容	実施時期	実施奉仕団	参加者数
浸水した住宅の家財撤去等	7月13日 ～15日	山口県赤十字防災奉仕団	1名

②令和6年能登半島地震

活動内容	実施時期	実施奉仕団	参加者数
救護車両の回収	3月7日 ～8日	山口県赤十字防災奉仕団	3名
救護資材の整理	2月21日	山口県赤十字防災奉仕団	2名
募金活動	1月13日 ～14日	山口県青年(学生)赤十字奉仕団	7名
	1月29日	山口県赤十字防災奉仕団	2名
	2月4日	山口県赤十字防災奉仕団	2名
	2月24日	山口県赤十字防災奉仕団	2名
	3月	山口県地域赤十字奉仕団	各地域

※P4.(1)令和6年能登半島地震の対応「②支部活動支援」の再掲

(5) 地域づくりに取り組む奉仕団に対する活動支援

地域における赤十字活動の推進者である地域奉仕団の活動の拡充に向け、コロナ禍の影響で停滞した炊き出し訓練の再開や、地域で展開されている地域包括ケアシステムへの貢献など、地域貢献活動に取り組む奉仕団に対する活動助成制度を創設し活動を支援しました。

助成金名称	活用件数
炊き出し訓練等に関する助成金 (上限5万円/件)	1件
地域包括ケアに関する助成金 (上限1万円/件)	3件

6 赤十字思想の普及

日本赤十字社では、赤十字の普遍的な使命である人道的任務を達成するため、多くの人びとの温かい思いを結集して赤十字運動を推進しています。

山口県支部では、県民の皆様へ、赤十字に共感し、支援いただけるよう、「赤十字運動月間」キャンペーンや広報活動、企業等とのタイアップによる社会貢献活動の普及等により赤十字思想の普及に取り組みました。

(1) 「赤十字運動月間」キャンペーン

5月1日の創立記念日、5月8日の「世界赤十字デー」にちなんで、毎年5月を『赤十字運動月間』として、全国各地で国民の皆さまに赤十字活動の報告や継続的な協力をお願いしています。

キャンペーン期間中は、地区・分区を通じた広報誌の配布、レッド・ライトアップ・プロジェクトの実施、テレビ・ラジオなどのマスメディアを活用したPRなど赤十字活動の広報に努めました。

**赤十字は、
動いてる!**

+SAVE365



① 「赤十字運動月間」における赤十字会員への加入の呼びかけ等

赤十字運動月間では、地区・分区や自治会長、奉仕団などにご協力いただき、赤十字会員募集のための資材等を地域の皆様へ配布し、赤十字会員への加入や活動資金への協力を呼びかけました。

【会員の推移（協力会員除く）】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
個人会員	1,747名	1,719名	1,892名	1,916名
法人会員	1,437社	1,470社	1,659社	1,621社
会員合計	3,184名・社	3,189名・社	3,551名・社	3,537名・社

② 「赤十字運動月間」PRポスターの作成

対外的に赤十字運動月間を広く周知するため、「認定こども園 野田学園幼稚園」の協力のもとPRポスターを作成し、期間中、県内のスーパーで展示しました。



③レッド・ライトアップ・プロジェクト

5月の赤十字運動月間に各地の公共・民間施設を赤色に灯す運動を全国一斉に実施しました。

【県内のライトアップ実施施設】

協力先	場所	期間
山口県国際総合センター	海峡ゆめタワー	5月6日～8日

④マスメディアによるPR

赤十字運動月間を広く県民に周知し支援をお願いするため、テレビや新聞、ラジオによる広報を実施しました。

【テレビ】15秒CM

◆民放テレビ：山口放送、テレビ山口、山口朝日放送

◆ケーブルテレビ

- ・アイキャン（岩国・和木・周防大島）、周防ケーブルネット（柳井）、
- ・Kビジョン（下松・光・平生・上関）、シティーケーブル周南（周南）、
- ・山口ケーブルテレビ（山口・防府・美祢）、Jコム下関（下関）、
- ・萩ケーブル（萩）、ほっちゃんTV（長門）

【新聞広告】

山口新聞、宇部日報

【ラジオ】

FM山口（Day Colors、Someday）

（2）広報活動

①広報資材の作成・配布

県内全域へ赤十字活動の理解と協力を呼び掛けるため、広報誌「Sekijuji Yamaguchi」を年2回発行しました。今回から、読者の関心が高いテーマに焦点をあてた特集を組むなど、紙面構成を大幅にリニューアルしたほか、表紙も県内在住の人気イラストレーターを起用し、目を惹くデザインに変更しました。その結果、紙面内で実施のプレゼント企画では、応募数が前年から約10倍となる1,231件と大きな反響をいただきました。

また、配布先についても、県内の空港や商業施設など、多くの人が集まる施設に本誌を新たに設置いただき、読者層の拡大に繋がりました。

このほか、「JRCとびっく」や「奉仕団だより」も発行し、関係者および協力先へ配布しました。

広報資材名	発行時期	発行部数	配布・設置先
Sekijuji Yamaguchi 2023 秋号	令和 5 年 10 月	403,000 部	各地区分区（原則各戸配布）、 赤十字会員、講習受講者、赤十字 サポーター他
Sekijuji Yamaguchi 2024 春号	令和 6 年 3 月	415,000 部	各地区分区（原則各戸配布）、 赤十字会員、講習受講者、赤十字 サポーター他
JRC とびっく	令和 6 年 3 月	1,500 部	JRC 加盟校他
奉仕団だより	令和 6 年 3 月	300 部	奉仕団員、各地区分区



Sekijuji Yamaguchi2023 秋号



Sekijuji Yamaguchi2024 春号

② マスメディアを通じた情報発信

県内における赤十字活動を広く県民に知ってもらうため、プレスリリースを
 発出してテレビ局や新聞社からの取材を促進し、報道へと繋げました。

【報道件数】

発出件数 68 件（テレビ 40 件、新聞 28 件）

③ ホームページ・SNSによる情報発信

主に若年層の支持者を増やすために、引き続きホームページとフェイスブッ
 クで写真や動画を活用した目に見える活動報告を行いました。

（3）企業・団体とのタイアップによる社会貢献活動の普及

① 赤十字サポーター

平成 25 年度から実施している赤十字サポーター制度では、法人の社会貢献
 活動を促進するために、赤十字活動資金への継続的な支援と、企業・団体の事
 業内容に沿った赤十字事業への協力という要件を満たした企業・団体を、赤十
 字サポーターとして認定しています。令和 5 年度は、新たな認定が 2 法人あ
 り、認定サポーターは 27 法人となりました。

【令和5年度赤十字サポーター認定法人】

社名	所在地	認定日	支援協力内容
三電	光市	11月1日	赤十字活動資金の寄付
小野田商業開発	山陽小野田市	11月1日	募金箱設置、保有施設での赤十字 広報協力、広報誌読者へのプレゼン ト提供



株式会社三電



小野田商業開発株式会社

②レノファ山口とのパートナーシップ協定に基づく取組の充実

平成28年3月に締結したパートナーシップ協定の内容に基づき、令和5年度は以下の相互協力を行いました。

【赤十字⇒レノファ】

実施項目	実施時期	備考（会場・内容等）
ホームゲーム救護所要員としてのボランティア救護員の派遣	2～10月	山口維新百年記念公園陸上競技場 赤十字病院の看護師等（延べ15名）
救急法講習会の実施	2月18日	レノファ山口FCのボランティア団体 「TeamBONDS」への救急法講習実施
広報協力	適時	保有施設でポスター等の掲示 広報誌読者へのプレゼント協力

【レノファ⇒赤十字】

実施項目	実施時期	備考
献血イベントの実施	5月22日 10月23日	受付人数：67名、400ml献血59名 受付人数：82名、400ml献血70名
広報協力	適時	保有施設でポスター等の掲示

（4）表彰

日本赤十字社の事業・活動に多大なご協力をいただいた個人・法人に対し、感謝の気持ちをお伝えするための表彰品をお渡ししました。

なお、活動資金功劳の社長感謝状及び金色有功章の受章者を対象とした表彰式を令和6年2月1日に開催しました。



表彰区分		表彰基準	個人 (名)	法人 (社/団体)	合計 (名・社/団体)	
活動資金	社長感謝状	金色有功章受章後 (累計) 50 万円以上	9	5	14	
	有功章	金色	(累計) 50 万円以上	1	4	5
		銀色	(累計) 20 万円以上	5	15	20
	支部長感謝状	(累計) 10 万円以上	17	39	56	
	小計			32	63	95
献血者	有功章	金色	献血回数 100 回以上	68		68
		銀色	献血回数 70 回以上	119		119
	小計			187		187
合計			219	63	282	

(5) 全国赤十字大会

5 月 18 日、日本赤十字社名誉総裁皇后陛下及び名誉副総裁各妃殿下のご臨席のもと、「令和 5 年全国赤十字大会」が明治神宮会館（東京都）で開催されました。山口県支部からは、寄付者や奉仕団員など計 23 名が参会しました。

(6) 国際人道法の普及

国際人道法は、紛争犠牲者の保護と、戦闘方法・兵器の規制のための国際的なルールです。ウクライナ人道危機やイスラエル・ガザ人道危機では、国際人道法に違反する行為が行われ、多くの犠牲者が出ています。

私たち日本赤十字社は国際人道法の推進機関の一員として、国際人道法の普及にこれまで以上に関心を払うことが必要です。

令和 5 年度は、青少年赤十字のメンバー・指導者や地区区分担当者を対象とした研修会等の講演機会を活用して、国際人道法の普及に努めました。

受講団体	実施時期	参加者 (名)
宇部商業高等学校	9 月 29 日	5
山口市あすなろ第 2 教室	1 月 19 日	22
地区区分担当者	2 月 21 日	33
合計	3 回	60

7 赤十字活動資金の確保

山口県支部の事業は、県民の皆様からお寄せいただく活動資金がよりどころです。近年、少子高齢化が加速し、地域社会が変容していく中、活動資金の確保は大変厳しい状況にあります。

このため、地区・分区や奉仕団等との連携による自治会・町内会を基盤とした募集を軸にしつつ、法人へのダイレクトメールや企業訪問等による法人会員の掘り起こしなど法人対策を強化し、活動資金の確保に努めました。

(1) 令和5年度の活動資金募集実績

少子高齢化や地域社会の変容などにより自治会等を基盤とした一般からの活動資金は減少しましたが、広報誌の配布先を拡大するなど、積極的に広報活動を展開することで、新規会員の獲得や高額寄付の確保に繋げ、5年連続で目標の2億円を超えることができました。

区分	令和5年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	前年対比
一般 (遺贈等除く)	180,000千円	178,965千円 (169,365千円)	192,404千円 (189,404千円)	93.0% (89.4%)
法人	20,000千円	35,543千円	27,793千円	127.9%
合計 (遺贈等除く)	200,000千円	214,508千円 (204,908千円)	220,197千円 (217,197千円)	97.4% (94.3%)

○活動資金収入実績の推移

(単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般		246,094 (186,094)	224,521 (192,521)	245,590 (192,779)	192,404 (180,404)	178,965
内訳	自治会	163,229	159,689	155,821	152,101	148,923
	大口寄付	60,000	32,000	52,811	12,000	0
	その他	22,865	32,832	36,958	28,303	30,042
法人		23,154	16,726	31,594 (21,594)	27,793	35,543 (25,543)
内訳	D M	13,033	10,279	14,801	19,908	17,067
	大口寄付	0	0	10,000	0	10,000
	その他	10,121	6,447	6,793	7,885	8,476
合計		269,248 (209,249)	241,247 (209,247)	277,184 (214,373)	220,197 (208,197)	214,508 (204,508)

※ 大口寄付は、1,000万円以上の寄付のみを集計

※ ()内は、大口寄付を除いた実績

(2) 一般対策

①地区区分との連携

令和5年度も赤十字運動月間での募集に先立って、地区・分区で開催される協賛委員会等に出席したほか、地区・分区担当職員や各自治会長様等の協力により、各地域で募集活動を推進しました。

【地区・分区の協賛委員会議等】

行事名	開催時期
日本赤十字社下関市地区代表協賛委員・分区長合同会議	令和5年4月18日
日本赤十字社山陽小野田市協賛委員会総会	令和5年4月20日
日本赤十字社防府市地区協賛委員会春季定例総会	令和5年4月25日
令和5年度日本赤十字社萩・阿武地区協力員集会	令和5年7月21日
令和5年度日本赤十字社宇部市地区協賛委員会	令和6年2月14日

②広報誌を活用した募集

平成30年度から広報誌の秋号に振込用紙を付けて発行・配布しておりますが、2023秋号においても、多くの応諾をいただきました。

【応諾実績】

年度	件数	金額
令和4年度	200件	3,921,602円
令和5年度	350件	5,352,401円

(3) 法人対策

①ダイレクトメールによる募集

例年、年3回(5月・9月・2月)のダイレクトメール発送により、過去に協力いただいた法人に対して活動資金の募集を行っています。令和5年度は、次頁のと通りの応諾がありました。

また、2月の発送にあわせて、本社導入システムにより抽出した法人リストを活用のうえ、過去に依頼実績のない2,627社に対して、新たにDMを発送しました。

【募集状況】

	発送数	応諾数	応諾率	協力金額
5月発送分	1,564件	761件	48.66%	11,904,814円
9月発送分	3,023件	147件	4.86%	3,333,000円
2月発送分	641件	81件	12.64%	1,271,000円
新規発送分	2,627件	25件	0.95%	558,000円
合計	7,855件	1,014件	12.91%	17,066,814円

【発送対象】

発送月	発送対象
5月	過去3年以内で1度でも納入のあった法人
9月	5月発送先の未応諾法人 及び 前年度新規発送先の未応諾法人
2月	5月発送先の未応諾法人

②訪問による募集

表彰対象法人など約100社に対して、表彰品、受領書を直接お届けして感謝の意をお伝えするとともに、赤十字事業について説明し、今後のさらなる協力をお願いしました。

(4) 多様な活動資金納入方法の周知

日赤では、窓口払いや銀行振り込み以外にも、口座振替やクレジットカード払い、コンビニ払い、ネット銀行決済等様々な協力方法を整えています。令和5年度も、広報誌やホームページ等で紹介し、活動資金への協力促進を図りました。

(5) 遺贈・相続による寄付の獲得

専門家に対して山口県支部が遺贈等の受付団体であることを周知するため、県内の税理士事務所および司法書士事務所へ広報誌を配布しました。

また、山口県司法書士会の共催による「遺贈・相続セミナー」を令和6年3月に宇部市で開催しました。



医療機能の分化・連携や地域包括ケアシステムの構築など医療・介護の制度改革に適切に対応しつつ、県民ニーズに応じた医療提供体制の充実・強化に努めました。

(1) 山口赤十字病院

①病院機能の充実・強化

(ア) 入退院支援機能等の充実

患者と家族の生活相談や入院患者の円滑な入退院の支援、地域の医療機関等との連携を強化するため、退院調整担当の看護師を病棟に常駐させるなど施策を実施しました。また、訪問看護ステーションをはじめ、市町や地域の保健医療福祉機関との連絡・調整を図りながら、患者が退院後も安心して在宅療養できるよう支援を行いました。

(イ) リハビリテーション提供体制の拡充・強化

身体の不活動等によって生じる廃用症候群を予防し、早期のADL向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理の下に、疾患の発症後早期から積極的なリハビリテーションを実施しました。

(ウ) 薬剤部業務の充実

医療技術の進展とともに薬物療法が高度化していることから、医療の質の向上及び医療安全の確保の観点から、病棟への薬剤師の配置を継続しました。

(エ) 高度医療機器の共同利用の推進

地域医療支援病院として、地域の医療機関における診療の充実を図るため、高度医療機器の共同利用を積極的に進めました。

(オ) 食事指導業務の充実

入退院支援センターと入院患者に係る情報を共有することで、入院時から適切な食事の提供を行うとともに、入院患者の病態に対応した安全で治療効果の上がる特別食が提供できるよう取り組みました。

(カ) 特定行為が実施できる看護師の育成

厚生労働省指定研修機関として、特定行為（医師・歯科医師が予め作成した手順によりできる行為）が実施できる看護師の育成に取り組みました。

②医療安全の推進

良質な医療サービスを提供する上での最重要課題である医療安全を確保するため、患者の権利などについて研修を行いました。

また、チームとしての活動の充実を図るため、インシデントレポートを振り返り検討する場として患者安全カンファレンスや、倫理的事例を検討する場として臨床倫理コンサルテーションを開催しました。

さらに、実効性のある医療安全対策を推進するため、山口県立総合医療センター、徳山中央病院と連携し、相互に医療安全対策に関する評価を行うとともに、阿知須共立病院と当院の医療安全対策のノウハウを共有し、さらなるレベルの向上に取り組みました。

③経営の安定化

(ア) 収益向上対策

地域の医療機関との連携強化による紹介患者の増加や効果的なベッドコントロール、手術室の効率的な運営などを通じて、新規入院患者の増加に取り組みましたが、在院日数の短縮などに伴い、入院患者数は減少しました。

一方、診療報酬改定を踏まえ、取得可能な施設基準については積極的に対応するとともに、本社の「費用をかけずに収益向上」対策を活用し加算等の算定率向上に努め、診療単価のアップを図りました。

入院診療単価	令和4年度	64,641円	令和5年度	66,015円
外来診療単価	令和4年度	17,275円	令和5年度	17,871円

(イ) 費用の適正化

費用については、競争入札や価格交渉を積極的に行うなど適正化に努めましたが、物価高騰に伴う医薬品、診療材料や、新病棟建設に伴う関連費用が増加しました。

(ウ) 経営管理機能の強化

経営課題を抽出し、戦略的な業務運営を行うことができるよう、パフォーマンス指標により経営課題ごとに対策と数値目標を定め、PDCAサイクルの進行管理による評価、改善に努めました。

また、新病棟建設事業が全て完了し、その償還財源の確保が重要な課題であることから、長期資金計画を策定し、資金収支を計画的に管理しています。

④地域への貢献

(ア) 地域医療機関等との連携強化

地域の医療機関との患者の紹介・逆紹介を円滑に進めることができるよう、診療所等への訪問などにより要望の把握に努めるとともに、当院の地域連携パスの運用強化や退院支援・退院調整機能の強化を図りました。

また、当院ホームページ内に登録医療機関紹介サイトを継続整備し、地域医療機関等との連携体制について周知を図りました。

(イ) 地域の医療機関との連携による高度医療機器等の有効活用

地域医療支援病院として、地域の医療機関の効果的な診断を支援するため、当院の高度医療機器等の共同利用を進めました。

(ウ) 広報の充実、マーケティング活動の展開

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度に引き続き市民公開講座や体験学習などの地域とのふれあい活動は開催できませんでしたが、新病棟の機能や取り組みをより多くの関係者に知ってもらうため、ホームページの充実や地域連携紙、新病棟パンフレットを活用して、地域医療機関との関係づくりを進めました。

(エ) 小児救急医療の充実

当院では山口・萩地域の小児救急医療拠点病院として、入院が必要な小児をいつでも受け入れる体制を整えており、また、山口・防府地域夜間こども急病センターとして、地域医療機関の協力の下、夜間の小児救急の受け入れを行いました。

⑤能登半島地震への対応

令和6年1月1日に発生した能登半島地震における救護活動に対応するため、救護班として2班、災害医療コーディネートチームとして2チーム、心のケア要員として2名を被災地に派遣しました。

⑥グランドオープン

令和6年3月29日に最終工事となる中央駐車場と外構が完成し、4月1日にグランドオープンしました。病院出入口が東側と中央駐車場側とを合わせて2ヶ所となり、駐車台数が建設前と比べて56台増え421台になったことに伴い、患者さんの利便性が大きく向上しました。

⑦新型コロナウイルス感染症への対応

令和5年5月8日から感染症法上の5類に分類された後においても、一般病棟において受入態勢を整え、地域の感染対策の基幹病院として、積極的に対応しました。

(2) 小野田赤十字病院

①病院機能の見直しと充実強化

当院は、山陽小野田市南部地域において、急性期、回復期、慢性期の機能を持ったケアミックス病院として、また、老人保健施設や介護医療院を併設し、地域住民の健康、医療、福祉を支援する地域包括ケアシステムの中核的施設として地域に貢献しています。

令和4年度において、地域のニーズや院内の人員体制を踏まえて療養機能の集約を図ることとし、2病棟を休止した上で、3病棟を40床から52床に増床するなど、療養病棟の再編・整備を行いました。

令和5年度は、地域包括ケア病床、療養病床、老人保健施設、介護医療院それぞれの機能を活かしつつ有機的に連携させ、受け入れ患者数等の増加を図るため、ベッドコントロールの取組を強化したところであり、90%に近い

病床利用率を達成することにより、当院が中核となった地域包括ケアシステムの運営に寄与しました。

②医療安全の推進

医療安全推進週間（11月19日～11月25日）には、外来患者向けに「新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」のリーフレットを作成・配布するとともに、医療安全推進週間のポスターを掲示しました。また、各部署において医療安全推進週間に取り組んだ内容について、医療安全管理対策委員会へ報告しました。

医療安全研修として、サブリスクマネージャー指導のもと KYT を各部署で実施するとともに、全職員に向けて、「患者さんの思いを組み入れるための医療情報」研修を実施しました。また、転倒転落予防対策チームの活動を継続しました。

③経営の改善

人口減少・少子高齢化の進行や診療報酬の改定、新型コロナウイルス感染症の影響により、本院の経営を取り巻く状況は非常に厳しい状況にあることから、令和4年5月に日本赤十字社本社の医療事業推進本部直轄の「本部管理病院」に指定されたところです。

令和5年度は、本院の経営改善を計画的かつ着実に実行するため「経営戦略室」を新設し、患者数を増加させるための方策や経費削減対策など、収支改善に向けた取組に加え、今後の病棟運用の方向性についても検討を行うなど、本社と連携・協議しながら取り組みました。

まず、患者数の増加に向けて、地域の医療機関と連携し、紹介患者の増加に取り組むとともに、ベッドコントロールの取組を強化し、90%に近い病床利用率で運用することができ、医業収益の大幅な改善を達成しました。

また、経費削減に向けて、退職者の不補充と職員の適正配置を通じて組織のスリム化を図るなど給与費の削減に取り組むとともに、物品購入における価格交渉や清掃委託料の見直しを行うなど、医業費用で大幅な削減を達成しました。

④地域への貢献

一次救急当番医制度に可能な限り対応するとともに、二次救急病院群輪番制を支援するサポート病院の役割を果たすなど、地域の救急医療の維持に貢献しました。

地域の行事に対して、けがや傷病者救護のために看護師等の派遣をしており、令和5年度は17名の看護師を派遣しました。

地域住民に対して、当院の情報をより分かりやすく、より早く伝えていくため、ホームページや広報誌による情報発信を行いました。

⑤新型コロナウイルス感染症への対応

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ変更になりましたが、引き続き、正面玄関からの入館者に対するトリアージを行うこととし、体表面温度計測タレット型サーマルIPカメラを活用して発熱者の監視を行いました。

また、職員に対して、PPE（個人防護具）着用の徹底を継続しています。

感染予防対策に関する研修を全職員に実施する中で、新型コロナウイルス感染症の5類感染症に変更後の対応を周知しました。

また、併設施設や病棟で新型コロナウイルス感染が発生した際には、迅速に臨時院内感染対策委員会を開催して対策を協議し、クラスターが10数名以上に広がる前に終息できました。

(3) 本年度の診療状況

区 分		山口赤十字病院	小野田赤十字病院
病 床 数		377床	92床
外来患者数	延 べ 数	169,188人	9,240人
	一日平均	699.1人	38.2人
入院患者数	延 べ 数	94,736人	30,276人
	一日平均	258.8人	82.7人

9

看護師の養成

将来、山口赤十字病院で就業する意思がある看護師等の資格取得を目指す学生の就学支援を目的に、奨学金貸与制度を運用しています。

【令和5年度実績】

新規貸付決定者数	1名（日本赤十字九州国際看護大学）
新規貸付金額	600,000円（60万円×1名）
年度末貸付残高	10,625,000円

【制度概要】

（対象）	山口赤十字病院で就業する意思のある看護学生
（貸付）	金額：60万円／年（5万円／月×12）、期間：最長3年
（償還）	償還期間：貸与期間の2倍の期間以内

10 血液事業

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍前の状況に戻って行く中で、各種キャンペーンの実施、小学生を対象とした「けんけつキッズスクール」を4年ぶりに開催するなど、献血者確保や将来に向けた若年層への献血思想の普及啓発を行いました。

その結果、延べ48,934人から献血のご協力をいただき、県内の128医療機関に輸血用血液製剤56,376本を、不足することなくお届けすることができました。

(1) 献血状況

①種別献血者数

(単位：人)

区分		令和5年度			前年度比	前年度差
		事業計画数	献血者数	事業計画比		
全血献血	400mL	40,175	39,624	98.6%	95.3%	▲1,962
	200mL	308	304	98.7%	78.4%	▲84
成分献血	血小板	3,443 (58,180)	3,201 (58,890)	93.0% (101.2%)	93.5% (92.5%)	▲224 (▲4,780)
	血漿	5,748	5,805	101.0%	96.5%	▲211
献血者数合計		49,674	48,934	98.5%	95.2%	▲2,481

※「血小板成分献血」の()内の数値は「血小板採血量」であり、事業計画数、献血者数及び前年度差の数値の単位は「200mL換算単位」である。

- 1)献血者数は、全血献血と成分献血を併せて48,934人で、事業計画比98.5%、前年度比95.2%、前年度より2,481人減少した。
- 2)全血献血のうち、400mL献血が39,624人で、事業計画比98.6%、前年度比95.3%、前年度より1,962人減少した。
- 3)成分献血のうち、血小板成分献血は、一人の献血者から2人分の血小板量である20単位(1人分は10単位)協力いただくことを推進している。血小板採血量は事業計画比101.2%であった。
- 4)血漿成分献血は5,805人で事業計画比101.0%、前年度比96.5%、前年度より211人減少した。

②施設別献血者数

(ア) やまぐち献血ルーム「For you」(稼働日数：312日) (単位：人)

区分		令和5年度			前年度比	前年度差
		事業計画数	献血者数	事業計画比		
全血献血	400mL	4,880	4,824	98.9%	100.6%	+27
	200mL	90	165	183.3%	89.2%	▲20
成分献血	血小板	3,443 (58,180)	3,201 (58,890)	93.0% (101.2%)	93.5% (92.5%)	▲224 (▲4,780)
	血漿	5,748	5,805	101.0%	96.5%	▲211
献血者数合計		14,161	13,995	98.8%	97.0%	▲428
1日当り献血者数		45.4	44.9			▲1.5

(イ) 移動採血車(稼働台数：延べ698台)

(単位：人)

区分		令和5年度			前年度比	前年度差
		事業計画数	献血者数	事業計画比		
全血献血	400mL	35,295	34,800	98.6%	94.6%	▲1,989
	200mL	218	139	63.8%	68.5%	▲64
献血者数合計		35,513	34,939	98.4%	94.5%	▲2,053
1稼働当り献血者数		52.0	50.1			+0.2

- 1) やまぐち献血ルームの献血者数は、13,995人で事業計画比98.8%、前年度比97.0%、前年度より428人減少した。1日当りの献血者数は、44.9人であり、前年度に比べ1.5人減少した。
- 2) 移動採血車は、延べ698台稼働し、献血者数は34,939人で事業計画比98.4%、前年度比94.5%、前年度より2,053人減少した。1稼働当りの献血者数は、50.1人で昨年度に比べ0.2人増加した。
- 3) 全血献血者数39,928人のうち、移動採血車での受入れが34,939人で88%、やまぐち献血ルームでの受入れが4,989人で12%を占めている。

③若年層献血者状況

(ア) 10代～30代献血者数

(単位：人)

区分	令和5年度			令和4年度 献血者数	前年度比	前年度差
	計画数	献血者数	計画比			
16～19歳	2,100	1,744	83.0%	1,975	88.3%	▲231
20～29歳	5,956	5,502	92.4%	6,078	90.5%	▲576
30～39歳	7,830	6,658	85.0%	7,184	92.7%	▲526
計	15,886	13,904	87.5%	15,237	91.3%	▲1,333

(イ) 10代～30代献血者年代別構成比

(単位：%)

区分	令和5年度	令和4年度	前年度差
山口県(a)	28.4	29.6	▲1.2
全国平均(b)	32.3	33.3	▲1.0
a-b	▲3.9	▲3.7	

- 1) 10代から30代の若年層の献血者は、13,904人で計画比87.5%、前年度比91.3%、前年度より1,333人減少した。
- 2) 前年度比、10代88.3%、20代90.5%、30代92.7%であり、10代は2年連続、30代は3年連続で減少した。
- 3) 年代別構成比は、10代から30代が全体の28.4%で、全国平均32.3%に比べ3.9ポイント低い現状にあり、更なる若年層献血者の確保が必要である。

(2) 輸血用血液製剤の供給状況

(単位：本)

区分	令和5年度 供給本数	令和4年度 供給本数	前年度比	前年度差
全血製剤	0	0	-	0
赤血球製剤	39,935	40,420	98.8%	▲485
血漿製剤	9,275	8,739	106.1%	+536
血小板製剤	7,166	7,734	92.7%	▲568
計	56,376	56,893	99.1%	▲517
医療機関数	128	133		

- 1) 前年度比、赤血球製剤98.8%、血漿製剤106.1%、血小板製剤92.7%であった。
- 2) 赤血球製剤及び血小板製剤は2年連続で減少した。

(3) 収支状況

① 収入

当センターの収入合計は、1,485,554 千円（予算比 92.1% 前年度比 97.1%）
血液製剤の供給減により、輸血用血液製剤供給収益が対前年度比 97.1%となった。
(単位：千円)

		令和 5 年度			令和 4 年度 決算額	前年度比
		決算額	予算額	予算比		
山口センター	輸血用血液製剤供給収益	1,485,307	1,612,203	92.1%	1,529,824	97.1%
	その他事業収益	140	103	135.9%	191	73.3%
	事業外収益	107	0	-	342	31.3%
	計	1,485,554	1,612,306	92.1%	1,530,357	97.1%
中四国ブロック全体	輸血用血液製剤供給収益	12,888,453	13,052,096	98.7%	13,057,958	98.7%
	その他事業収益	6,160	3,947	156.1%	7,473	82.4%
	事業外収益	198,510	129,356	153.5%	274,059	72.4%
	特別利益	200	0	-	218	91.7%
	計	13,093,323	13,185,399	99.3%	13,339,708	98.2%

② 費用

当センターの費用は、1,083,090 千円（予算比 100.7% 前年度比 94.8%）
予算比では、人件費 99.4%、材料費 100.7%、経費 104.2%であった。

(単位：千円)

		令和 5 年度			令和 4 年度 決算額	前年度比
		決算額	予算額	予算比		
山口センター	人件費	611,538	615,030	99.4%	650,137	94.1%
	材料費	236,493	234,801	100.7%	242,242	97.6%
	経費	235,059	225,688	104.2%	249,980	94.0%
	事業外費用	0	0	-	0	-
	計	1,083,090	1,075,519	100.7%	1,142,359	94.8%
中四国ブロック全体	人件費	5,475,169	5,805,516	94.3%	5,910,264	92.6%
	材料費	3,528,148	3,398,549	103.8%	3,430,862	102.8%
	経費	3,449,621	3,172,935	108.7%	3,258,762	105.9%
	棚卸調整額	133,604	-	-	▲92,912	-
	事業外費用	6,395	6,249	102.3%	6,358	100.6%
	関連事業費用	7,183	8,238	87.2%	6,886	104.3%
	特別損失	23,036	19,071	120.8%	7,019	328.2%
	計	12,623,156	12,410,558	101.7%	12,527,239	100.8%

(4) 献血協力者を確保するための主な取り組み

①献血運動推進強調月間等におけるキャンペーン等の開催

- (ア) 7～8月。「愛の血液助け合い運動」キャンペーンの開催
県内13市で地域密着したキャンペーン：献血者数1,288人
- (イ) 1～2月。地区献血推進協議会(8地区)における「はたちの献血」キャンペーンの開催
県内9会場で若年層への啓発キャンペーン：献血者数621人
- (ウ) 12月。山口県学生献血推進協議会主催によるキャンペーンの開催
「全国学生クリスマス献血キャンペーン」：献血者数80人

②若年層に対する献血思想の普及及び献血体験の普及

- (ア) 高校及び大学、専門学校における献血の実施

区分	実施年度	実施校数(延べ回数)	献血者数
高等学校	令和4年度	13校(14回)	354人
	令和5年度	13校(15回)	356人
大学 専門学校	令和4年度	13校(34回)	1,599人
	令和5年度	13校(34回)	1,587人

- (イ) 「献血セミナー」「献血出前講座」の実施
 - ・献血セミナー：高校20校で実施
 - ・献血出前講座：小学校1校で実施
- (ウ) 「けんけつキッズスクール～小学生親子体験教室」の実施
 - ・開催日 8月9日
 - ・参加者 親子45名
- (エ) 献血読本「SEISHUN!献血」(13,800部)の作成
 - ・県内高校、高専、支援学校高等部1年生に全員配布
- (オ) SNSの運用による献血情報の発信

③WEB(ラブラット)会員登録の拡充(旧複数回献血者クラブ会員)

- ・WEB会員数(R6.3月末)：32,808人(令和5年度新規登録4,531人)

11 評議員会及び監査

(1) 評議員会

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、参集形式で開催しました。いずれの議案も原案どおり承認されました。

① 第1回評議員会 [令和5年6月2日(金) 於: KKR 山口あさくら]

議案第一号 令和4年度日本赤十字社山口県支部事業報告
及び一般会計歳入歳出決算について

議案第二号 令和4年度医療施設事業報告
及び医療施設特別会計歳入歳出決算について

議案第三号 令和4年度血液センター事業報告について

議案第四号 日本赤十字社山口県支部 支部長の選出について

報告事項 トルコ・シリア地震災害に対する日本赤十字社の対応

② 第2回評議員会 [令和6年2月1日(木) 於: ホテルニュータナカ]

議案第一号 令和6年度日本赤十字社山口県支部事業計画
及び一般会計歳入歳出予算について

議案第二号 令和6年度医療施設事業計画
及び医療施設特別会計歳入歳出予算について

議案第三号 令和6年度血液センター事業計画について

報告事項 令和6年能登半島地震災害に対する日本赤十字社の対応

(2) 監査

① 監査委員監査

監査委員による令和4年度の支部一般会計及び医療施設特別会計の歳入歳出決算監査については、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、令和5年5月24日に、対面形式により監査を実施しました。

監査の結果、県民からの赤十字に対する期待に応えていること、歳入歳出決算報告書のすべての重要な点において、適正に表示しているものと認められました。

② 外部監査(監査法人による監査)

山口県支部事務局を対象とした監査が、あずさ監査法人により令和5年12月4日および5日の2日間で実施されました。

監査の結果、会計処理に関する重大な問題の指摘はありませんでした。

決算資料・資料編

令和5年度一般会計歳入歳出決算説明資料

日本赤十字社山口県支部

(単位:円)

《歳入》

科 目	令和5年度	令和4年度	前年度対比	内 訳
活動資金収入	216,362,948	225,974,512	95.7%	1.一般社資収入 180,819,575 2.法人社資収入 35,543,373
補助金及び交付金収入	3,820,941	3,457,611	110.5%	本社交付金収入 3,820,941
災害義援金預り金収入	87,567,828	0	-	災害義援金預り金収入 87,567,828
繰入金収入	1,855,000	5,777,769	32.1%	国際救護活動資金繰入金収入 1,855,000
資産収入	112,880	0	-	物品売却収入 112,880
雑収入	4,079,529	6,877,949	59.3%	1.負担金収入 1,734,783 2.雑収入 2,344,746
前年度繰越金	50,991,763	40,090,957	127.2%	前年度繰越金 50,991,763
歳入合計	364,790,889	282,178,798	129.3%	

《歳出》

科 目	令和5年度	令和4年度	前年度対比	内 訳
災害救護事業費	116,150,701	18,056,684	643.3%	1.災害救護指導事業費 17,260,990 2.災害救護装備費 11,321,883 3.災害義援金送付金 87,567,828
社会活動費	34,646,463	30,061,523	115.3%	1.救急法等普及費 9,535,378 2.奉仕団活動費 8,390,176 3.青少年赤十字活動費 12,133,161 4.社会福祉活動費 4,587,748
国際活動費	2,766,201	6,679,749	41.4%	国際救援活動費 2,766,201
指定事業地方振興費	1,855,000	5,777,769	-	指定事業地方振興費 1,855,000
地区区分交付金支出	34,021,867	35,170,272	96.7%	事務費交付金 17,951,744 事業費交付金 16,070,123
社業振興費	39,984,526	34,761,067	115.0%	1.社業振興費 22,293,884 2.広報活動費 17,690,642
基盤整備交付金・補助金支出	170,000	1,283,500	13.2%	医療施設基盤整備交付金 144,500 血液事業基盤整備交付金 25,500
積立金支出	25,813,706	31,569,026	81.8%	1.施設整備準備資金積立金 20,000,000 2.退職給与資金特別会計積立金 5,813,706
総務管理費	33,175,315	33,271,227	99.7%	1.評議員会等諸費 471,730 2.総務費 7,022,724 3.業務費 4,069,269 4.保険料等負担金 12,233,862 5.管理費 8,775,130 6.監査費 602,600
資産取得及び資産管理費	940,502	1,976,707	47.6%	1.修繕費 8,800 2.損害保険料 566,193 3.管理諸費 365,509
本社送納金支出	31,876,192	32,579,511	97.8%	本社送納金 31,876,192
歳出合計	321,400,473	231,187,035	139.0%	
歳入歳出差引額	43,390,416	50,991,763		

資金の残高

(単位:円)

	令和5年度	令和4年度	増減	目的
災害等資金	428,739,529	428,735,567	3,962	災害等における被災者の救護ならびにその他緊急の経費に充当する ※積立の目安は活動資金収入の2か年分
国際救護活動資金	0	0	0	海外の災害・紛争等による罹災者救護ならびに発展途上国赤十字社の 救助保健衛生指導等の活動を円滑に実施する
施設整備準備資金	755,646,408	735,620,154	20,026,254	支部庁舎等の建て替えや改修、その他必要な施設整備の経費に充当する
合計	1,184,385,937	1,164,355,721	20,030,216	

令和5年度 医療施設特別会計歳入歳出決算説明資料

収益的収入及び支出

山口赤十字病院

《 収入 》

(単位:円)

科 目	令和5年度	令和4年度	前年度対比(%)	令和5年度内訳
医業収益				
入院診療収益	6,254,017,292	6,458,704,978	96.8	入院患者延数 94,736 人
室料差額収益	135,318,212	106,820,856	126.7	1日平均 258.8 人
外来診療収益	3,023,547,683	2,874,859,062	105.2	病床利用率 68.7 %
保健予防活動収益	243,227,909	250,601,723	97.1	外来患者延数 169,188 人
その他医業収益	54,567,668	50,429,099	108.2	1日平均 699.1 人
保険等査定減	△ 18,382,418	△ 19,678,435	93.4	
医業収益計	9,692,296,346	9,721,737,283	99.7	
医業外収益	494,263,383	1,497,778,833	33.0	1. 受取利息 18,095 2. 本部繰入金 200,000 3. 他会計繰入金 0 4. 運営費補助金等収益 276,831,937 5. 施設設備補助金等収益 147,868,713 6. 患者外給食収益 3,576,572 7. その他の医業外収益 65,768,066
医療社会事業収益	123,000	0		医療社会運営費補助金等収益 123,000
付帯事業収益	47,322,340	47,249,692	100.2	施設収益 47,322,340
特別利益	24,774,200	7,354,007		1. 固定資産売却益 0 2. その他の特別利益 24,774,200
収益的収入合計	10,258,779,269	11,274,119,815	91.0	

《 支出 》

(単位:円)

科 目	令和5年度	令和4年度	前年度対比(%)	令和5年度内訳
医業費用				
材料費	2,726,596,082	2,610,824,569	104.4	年度末職員数(換算人数)
給与費	5,772,032,512	5,629,535,214	102.5	医師 88.3 人
委託費	822,659,253	1,002,721,158	82.0	看護師 362.7 人
設備関係費	1,335,085,549	1,102,997,137	121.0	その他 287.7 人
減価償却費(再掲)	1,070,757,090	873,904,207	122.5	合計 738.7 人
研究研修費	24,171,577	19,033,541	127.0	
経費	496,923,797	671,216,951	74.0	
医業費用計	11,177,468,770	11,036,328,570	101.3	
医業外費用	38,738,394	38,150,306	101.5	1. 支払利息 22,654,329 2. 患者外給食用材料費 4,900,010 3. 看護師等委託養成費 0 4. 本部繰出金 8,507,947 5. 他会計繰出金 1,102,923 6. その他の医業外費用 1,573,185
医療奉仕費用	147,177,677	153,295,906	96.0	1. 医療社会事業費 68,839,445 2. 社会活動費 78,338,232
付帯事業費用	53,328,852	44,985,463	118.5	施設費 53,328,852
特別損失	403,965,502	481,638,564	83.9	1. 固定資産除却損 152,125,502 2. 固定資産減損損失 0 3. その他の特別損失 251,840,000
法人税等	0	0		1. 法人税、住民税及び事業税負担額 0
収益的支出合計	11,820,679,195	11,754,398,809	100.6	
収入支出差引額	△ 1,561,899,926	△ 480,278,994		

資本的収入及び支出

山口赤十字病院

《 収 入 》

(単位:円)

科 目	令和5年度	令和4年度	前年度対比(%)	令和5年度内訳
固定負債	808,895,200	1,436,114,900	56.3	1. 借入金 783,779,200 2. リース未払金 0 3. 長期前受補助金等 25,116,000
その他資本収入	487,743,124	4,028,836,075	12.1	1. その他資本収入 487,743,124
資本的収入合計	1,296,638,324	5,464,950,975	23.7	

《 支 出 》

(単位:円)

科 目	令和5年度	令和4年度	前年度対比(%)	令和5年度内訳
固定資産	1,001,758,613	4,215,914,408	23.8	1. 有形固定資産 957,670,083 (1) 建物 307,073,200 (2) 建物付属設備 218,008,300 (3) 構築物 331,645,000 (4) 医療用器械備品 70,150,198 (5) その他器械備品 27,603,385 (6) 車両 0 (7) 建設仮勘定 3,190,000 2. 無形固定資産 44,088,530
借入金等償還	294,879,711	1,249,036,567	23.6	1. 借入金等償還 77,292,000 2. リース未払金支払 217,587,711
資本的支出合計	1,296,638,324	5,464,950,975	23.7	

収入支出差引額 0円

令和5年度 医療施設特別会計歳入歳出決算説明資料

収益的収入及び支出

小野田赤十字病院

収入

(単位:円)

科 目	令和5年度	令和4年度	前年対比%	令 和 5 年 度 内 訳
医 業 収 益				
入院診療収益	774,744,672	631,147,031	122.8	入院患者延数 30,276人
室料差額収益	11,327,890	4,347,160	260.6	1日平均 82.7人
外来診療収益	69,490,289	73,802,337	94.2	病床利用率 (全体) 89.9%
保健予防活動収益	69,006,234	80,577,500	85.6	(一般〔地域包括〕) 93.1%
受託検査・施設利用収益	1,869,010	7,937,847	23.5	(療養) 87.4%
その他の医業収益	7,169,786	12,917,879	55.5	外来患者延数 8,965人
保健査定減	△ 826,803	△ 641,435	128.9	1日平均 37.0人
計	932,781,078	810,088,319	115.1	
医 業 外 収 益	55,171,491	684,987,189	8.1	1. 受取利息 6,877
				2. 本部繰入金 200,000
				3. 他会計繰入金 0
				4. 運営費補助金等収益 25,808,206
				5. 施設設備補助金等収益 22,830,734
				6. 患者外給食収益 0
				7. その他の医業外収益 6,325,674
医療社会事業収益	5,902,499	8,377,220	70.5	医療社会事業収益 5,902,499
付帯事業収益	565,235,844	556,209,679	101.6	施設収益 (老人保健施設・訪問看護S介護医療院) 565,235,844
特別利益	39,077	0	0.0	1. 固定資産売却益 39,077
				2. その他の特別利益 0
収入合計	1,559,129,989	2,059,662,407	75.7	

支出

(単位:円)

科 目	令和5年度	令和4年度	前年対比%	令 和 5 年 度 内 訳
医 業 費 用				年度末職員数
材料費	107,617,508	125,413,646	85.8	(病院) 医師 7.0人
給与費	773,233,455	824,004,093	93.8	看護師 36.8人
委託費	61,011,999	68,169,889	89.5	その他 58.9人
設備関係費	119,566,962	131,880,509	90.7	計 102.7人
減価償却費(再掲)	81,463,827	102,291,881	79.6	(老人保健施設) 29.8人
研究研修費	2,190,375	1,110,120	197.3	(在宅介護支援センター) 1.0人
経費	80,879,479	111,904,084	72.3	(訪問看護ステーション) 4.0人
計	1,144,499,778	1,262,482,341	90.7	(介護医療院) 33.2人
医 業 外 費 用	17,063,175	16,902,366	101.0	1. 支払利息 2,073,857
				2. 患者外給食用材料費 1,446,893
				3. 診療費減免額 825,760
				4. 本部繰出金 719,985
				5. 他会計繰出金 52,044
				6. 退職給付債務変更時差異 0
				7. その他の医業外費用 11,944,636
医療奉仕費用	8,623,290	10,743,465	80.3	1. 医療社会事業費 0
				2. 社会活動費 8,623,290
付帯事業費用	540,991,448	563,931,650	95.9	施設費 (老人保健施設・訪問看護S介護医療院) 540,991,448
特別損失	268,038	255,924	104.7	1. 固定資産除却損 268,038
				2. その他の特別損失 0
法人税等	0	0	0.0	1. 法人税、事業税及び事業税負担額 0
支出合計	1,711,445,729	1,854,315,746	92.3	
収支差引額	△152,315,740	205,346,661	△74.2	

資本的収入及び支出

小野田赤十字病院

収 入

(単位:円)

科 目	令和5年度	令和4年度	前年対比%	令 和 5 年 度 内 訳
固 定 負 債	0	410,000	0.0	1. 借入金 0 2. 長期前受補助金等 0
そ の 他 資 本 収 入	126,936,320	120,397,200	105.4	1. その他資本収入 126,936,320 (自己資金)
計	126,936,320	120,807,200	105.1	

支 出

科 目	令和5年度	令和4年度	前年対比%	令 和 5 年 度 内 訳
固 定 資 産	43,605,320	37,476,200	116.4	1. 有形固定資産 28,293,271 (1) 建物 4,094,808 (2) 建物附属設備 8,408,794 (3) 医療器械備品 4,415,620 (4) その他器械備品 10,879,049 (5) 車両 495,000 2. 無形固定資産 15,312,049 (1) ソフトウェア 15,312,049
借 入 金 等 償 還	83,331,000	83,331,000	100.0	1. 借入金等償還 83,331,000
計	126,936,320	120,807,200	105.1	

収入支出差引額 0円

日本赤十字社山口県支部現勢

・ 赤十字基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

(令和6年3月末現在)

<p>・ 役員</p> <table> <tr><td>支部長</td><td>村岡嗣政</td></tr> <tr><td>副支部長</td><td>平屋隆之</td></tr> <tr><td>副支部長</td><td>国井益雄</td></tr> <tr><td>監査委員</td><td>池内英之</td></tr> <tr><td>監査委員</td><td>堀川順生</td></tr> <tr><td>本社理事</td><td>藤家幸子</td></tr> <tr><td>本社代議員</td><td>藤家幸子</td></tr> <tr><td></td><td>石田和雄</td></tr> <tr><td></td><td>嬉静惠</td></tr> <tr><td></td><td>徳田文範</td></tr> </table> <p>評議員 30人</p> <p>・ 会員</p> <table> <tr><td>個人</td><td>1,916人</td></tr> <tr><td>法人</td><td>1,621法人</td></tr> </table> <p>・ 赤十字奉仕団</p> <table> <tr><td>団数</td><td>49団</td></tr> <tr><td>団員数</td><td>7,705人</td></tr> </table> <p>・ 青少年赤十字</p> <table> <tr><td>加盟校(園)数</td><td>20園172校</td></tr> <tr><td>メンバー数</td><td>31,987人</td></tr> </table> <p>・ 救護・救援</p> <table> <tr><td>常備救護班</td><td>8班</td></tr> <tr><td>救護要員総数</td><td>167人</td></tr> <tr><td>救急車</td><td>3台</td></tr> <tr><td>通信指令車</td><td>1台</td></tr> <tr><td>災害救援車</td><td>7台</td></tr> <tr><td>無線基地局</td><td>3局</td></tr> <tr><td>無線移動局</td><td>45局</td></tr> <tr><td>NBC除染セット</td><td>1セット</td></tr> <tr><td>テント(パイプ組立式)</td><td>8張</td></tr> <tr><td>エアーテント</td><td>3張</td></tr> <tr><td>救援用毛布</td><td>5,351枚</td></tr> <tr><td>緊急セット</td><td>1,620セット</td></tr> <tr><td>安眠セット</td><td>465セット</td></tr> </table> <p>・ 養成</p> <table> <tr><td>救急法指導員</td><td>172人</td></tr> <tr><td>水上安全法指導員</td><td>25人</td></tr> <tr><td>幼児安全法指導員</td><td>69人</td></tr> <tr><td>健康生活支援講習指導員</td><td>40人</td></tr> </table>	支部長	村岡嗣政	副支部長	平屋隆之	副支部長	国井益雄	監査委員	池内英之	監査委員	堀川順生	本社理事	藤家幸子	本社代議員	藤家幸子		石田和雄		嬉静惠		徳田文範	個人	1,916人	法人	1,621法人	団数	49団	団員数	7,705人	加盟校(園)数	20園172校	メンバー数	31,987人	常備救護班	8班	救護要員総数	167人	救急車	3台	通信指令車	1台	災害救援車	7台	無線基地局	3局	無線移動局	45局	NBC除染セット	1セット	テント(パイプ組立式)	8張	エアーテント	3張	救援用毛布	5,351枚	緊急セット	1,620セット	安眠セット	465セット	救急法指導員	172人	水上安全法指導員	25人	幼児安全法指導員	69人	健康生活支援講習指導員	40人	<p>・ 国際活動資金援助</p> <p>アジア・大洋州給水支援事業 89.1万円</p> <p>・ 医療</p> <table> <tr><td>病院</td><td>2施設</td></tr> <tr><td>病床数</td><td>469床</td></tr> <tr><td>患者延数</td><td></td></tr> <tr><td>外来</td><td>178,428人</td></tr> <tr><td>(1日平均)</td><td>737.3人</td></tr> <tr><td>入院</td><td>125,012人</td></tr> <tr><td>(1日平均)</td><td>341.5人</td></tr> </table> <p>・ 老人保健施設</p> <table> <tr><td>小野田赤十字老人保健施設</td><td></td></tr> <tr><td>入所定員</td><td>40人</td></tr> <tr><td>通所定員</td><td>30人</td></tr> <tr><td>小野田赤十字介護医療院</td><td></td></tr> <tr><td>入所定員</td><td>60人</td></tr> </table> <p>・ 血液</p> <table> <tr><td>血液センター</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>出張所</td><td>2施設</td></tr> <tr><td>移動採血車</td><td>4台</td></tr> <tr><td>血液運搬車</td><td>18台</td></tr> <tr><td>献血者数</td><td>48,934人</td></tr> <tr><td>成分献血</td><td>9,006人</td></tr> <tr><td>400ml献血</td><td>39,624人</td></tr> <tr><td>200ml献血</td><td>304人</td></tr> <tr><td>供給数 血液製剤</td><td>56,376本</td></tr> </table> <p>・ 職員(正職員)</p> <table> <tr><td>支部</td><td>10人</td></tr> <tr><td>山口赤十字病院</td><td>639人</td></tr> <tr><td>小野田赤十字病院</td><td>84人</td></tr> <tr><td>老人保健施設</td><td>20人</td></tr> <tr><td>介護医療院</td><td>28人</td></tr> <tr><td>血液センター</td><td>56人</td></tr> <tr><td>計</td><td>837人</td></tr> </table> <p>・ 山口県日赤紺綬有功会</p> <table> <tr><td>会員数</td><td>55人・社</td></tr> </table>	病院	2施設	病床数	469床	患者延数		外来	178,428人	(1日平均)	737.3人	入院	125,012人	(1日平均)	341.5人	小野田赤十字老人保健施設		入所定員	40人	通所定員	30人	小野田赤十字介護医療院		入所定員	60人	血液センター	1施設	出張所	2施設	移動採血車	4台	血液運搬車	18台	献血者数	48,934人	成分献血	9,006人	400ml献血	39,624人	200ml献血	304人	供給数 血液製剤	56,376本	支部	10人	山口赤十字病院	639人	小野田赤十字病院	84人	老人保健施設	20人	介護医療院	28人	血液センター	56人	計	837人	会員数	55人・社
支部長	村岡嗣政																																																																																																																												
副支部長	平屋隆之																																																																																																																												
副支部長	国井益雄																																																																																																																												
監査委員	池内英之																																																																																																																												
監査委員	堀川順生																																																																																																																												
本社理事	藤家幸子																																																																																																																												
本社代議員	藤家幸子																																																																																																																												
	石田和雄																																																																																																																												
	嬉静惠																																																																																																																												
	徳田文範																																																																																																																												
個人	1,916人																																																																																																																												
法人	1,621法人																																																																																																																												
団数	49団																																																																																																																												
団員数	7,705人																																																																																																																												
加盟校(園)数	20園172校																																																																																																																												
メンバー数	31,987人																																																																																																																												
常備救護班	8班																																																																																																																												
救護要員総数	167人																																																																																																																												
救急車	3台																																																																																																																												
通信指令車	1台																																																																																																																												
災害救援車	7台																																																																																																																												
無線基地局	3局																																																																																																																												
無線移動局	45局																																																																																																																												
NBC除染セット	1セット																																																																																																																												
テント(パイプ組立式)	8張																																																																																																																												
エアーテント	3張																																																																																																																												
救援用毛布	5,351枚																																																																																																																												
緊急セット	1,620セット																																																																																																																												
安眠セット	465セット																																																																																																																												
救急法指導員	172人																																																																																																																												
水上安全法指導員	25人																																																																																																																												
幼児安全法指導員	69人																																																																																																																												
健康生活支援講習指導員	40人																																																																																																																												
病院	2施設																																																																																																																												
病床数	469床																																																																																																																												
患者延数																																																																																																																													
外来	178,428人																																																																																																																												
(1日平均)	737.3人																																																																																																																												
入院	125,012人																																																																																																																												
(1日平均)	341.5人																																																																																																																												
小野田赤十字老人保健施設																																																																																																																													
入所定員	40人																																																																																																																												
通所定員	30人																																																																																																																												
小野田赤十字介護医療院																																																																																																																													
入所定員	60人																																																																																																																												
血液センター	1施設																																																																																																																												
出張所	2施設																																																																																																																												
移動採血車	4台																																																																																																																												
血液運搬車	18台																																																																																																																												
献血者数	48,934人																																																																																																																												
成分献血	9,006人																																																																																																																												
400ml献血	39,624人																																																																																																																												
200ml献血	304人																																																																																																																												
供給数 血液製剤	56,376本																																																																																																																												
支部	10人																																																																																																																												
山口赤十字病院	639人																																																																																																																												
小野田赤十字病院	84人																																																																																																																												
老人保健施設	20人																																																																																																																												
介護医療院	28人																																																																																																																												
血液センター	56人																																																																																																																												
計	837人																																																																																																																												
会員数	55人・社																																																																																																																												

日本赤十字社山口県支部役員

役職名	氏名	備考
支部長	村岡 嗣政	山口県知事
副支部長	平屋 隆之	山口県副知事
副支部長	国井 益雄	山口県市長会会長
支部参与	佐藤 茂宗	山口県総務部長
支部参与	國吉 宏和	山口県健康福祉部長
支部参与	根ヶ山 耕平	山口県副教育長
監査委員	池内 英之	
	堀川 順生	
本社理事	藤家 幸子	本社代議員
本社代議員	石田 和雄	
	嬉 静恵	
	徳田 文範	

日本赤十字社山口県支部評議員

氏名	選出区分
川久保 賢隆	支部長
中 繁 尊 範	支部長
内 田 芳 明	支部長
田 中 マキ子	支部長
藤 家 幸 子	支部長
太 田 英 弘	下関市地区
松 原 守	下関市地区
中 野 リエ子	宇部市地区
徳 田 文 範	宇部市地区
岩 城 精 二	山口市地区
井 上 美 代 子	山口市地区
小 林 正 史	萩・阿武地区(萩市)
石 田 和 雄	防府市地区
山 村 美 津 江	防府市地区
白 木 正 博	下松市地区

氏名	選出区分
藤 谷 允 子	岩国市地区
堀 江 泰	岩国市地区
梅 本 貞 則	光市地区
竹 林 敏 子	長門市地区
嬉 静 恵	柳井市地区
山 田 悦 子	美祢市地区
久 野 三 砂 子	周南市地区
佐 久 田 美 智 枝	周南市地区
岡 本 志 俊	山陽小野田市地区
藤 本 淨 孝	東部地区周防大島町分区
松 村 武	東部地区和木町分区
松 藤 泰 三	東部地区上関町分区
中 原 和 枝	東部地区田布施町分区
山 田 博 子	東部地区平生町分区
花 田 憲 彦	萩・阿武地区(阿武町)

地区・分区担当窓口一覧

令和6年4月1日現在

地区・分区	担当部課	〒	住 所	電話番号	FAX番号
下関市	総務部 防災危機管理課	750-8521	下関市南部町 1-1	083-231-9333	083-231-9966
菊川	地域政策課 総務防災係	750-0317	下関市菊川町大字下岡枝1480-1 下関市菊川総合支所	083-287-1112	083-287-2739
豊田	地域政策課 総務防災係	750-0421	下関市豊田町大字殿敷 1918-1 下関市豊田総合支所	083-766-1051	083-766-2683
豊浦	地域政策課 総務防災係	759-6301	下関市豊浦町大字川棚 6895-1 下関市豊浦総合支所	083-772-0612	083-774-3305
豊北	地域政策課 総務防災係	759-5592	下関市豊北町大字滝部 3140-1 下関市豊北総合支所	083-782-0063	083-782-1717
宇部市	健康福祉部 地域福祉課 地域福祉係	755-8601	宇部市常盤町 1-7-1	0836-34-8325	0836-22-6026
山口市	健康福祉部 地域福祉課 地域福祉担当	753-8650	山口市亀山町 2-1	083-934-2790	083-934-5087
徳地	総合サービス課 健康福祉担当	747-0292	山口市徳地堀 1744 山口市徳地総合支所	0835-52-1121	0835-52-0760
秋穂	総合サービス課 健康福祉担当	754-1101	山口市秋穂東 6570 山口市秋穂総合支所	083-984-8023	083-984-8041
小郡	総合サービス課 健康福祉担当	754-8511	山口市小郡下郷 609-1 山口市小郡総合支所	083-973-8145	083-974-4387
阿知須	総合サービス課 健康福祉担当	754-1292	山口市阿知須 2743 山口市阿知須総合支所	0836-65-4114	0836-65-5188
阿東	総合サービス課 健康福祉担当	759-1512	山口市阿東徳佐中 3417-2 山口市阿東総合支所	083-956-0157	083-956-0680
萩市	福祉部 福祉政策課 地域福祉係	758-8555	萩市大字江向 510	0838-25-3550	0838-25-3232
川上	市民窓口部門	758-0141	萩市川上 4462-1 萩市川上総合事務所	0838-54-2121	0838-54-2430
田万川	市民窓口部門	759-3112	萩市大字下田万 1036 萩市田万川総合事務所	08387-2-0300	08387-2-0303
むつみ	市民窓口部門	758-0304	萩市大字吉部上 3191-1 萩市むつみ総合事務所	08388-6-0211	08388-6-0218
須佐	市民窓口部門	759-3411	萩市大字須佐 4570-5 萩市須佐総合事務所	08387-6-2016	08387-6-3894
旭	市民窓口部門	754-0411	萩市大字明木 3174 萩市旭総合事務所	0838-55-0211	0838-55-0217
福栄	市民窓口部門	758-0212	萩市大字福井下 3999-6 萩市福栄総合事務所	0838-52-0121	0838-52-0262
防府市	福祉部 福祉総務課 福祉政策係	747-8501	防府市寿町 7-1	0835-25-2349	0835-25-2549
下松市	社会福祉協議会 生活支援係	744-0078	下松市西市 2-10-16	0833-41-2242	0833-41-2330
岩国市	福祉部 福祉政策課 政策推進班	740-8585	岩国市今津町 1-14-51	0827-29-5070	0827-21-3337
由宇	市民福祉課 福祉班	740-1428	岩国市由宇町中央 1-1-10 岩国市由宇総合支所	0827-63-1113	0827-63-3427

玖珂	福祉班	742-0392	岩国市政珂町4933-2 岩国市政珂支所	0827-82-2511	0827-82-6139
本郷	市民福祉班	740-0602	岩国市本郷町本郷 2082-1 岩国市本郷支所	0827-75-2582	0827-75-2366
周東	市民福祉課 福祉班	742-0492	岩国市周東町下久原 1208-1 岩国市周東総合支所	0827-84-1112	0827-84-7711
錦	市民福祉課 福祉班	740-0724	岩国市錦町広瀬 12-8 岩国市錦総合支所	0827-72-2112	0827-72-2120
美川	市民福祉班	740-0502	岩国市美川町四馬神 1057 岩国市美川支所	0827-76-0311	0827-76-0863
美和	市民福祉課 福祉班	740-1231	岩国市美和町生見 12126 岩国市美和総合支所	0827-96-1113	0827-96-1712
光市	福祉保健部 福祉総務課 福祉総務係	743-0011	光市光井 2-2-1 あいばーく光	0833-74-3000	0833-74-3070
長門市	健康福祉部 地域福祉課 地域福祉班	759-4192	長門市東深川 1339-2	0837-23-1245	0837-22-3680
日置	窓口・健康福祉担当	759-4401	長門市日置上5914-3 長門市日置支所	0837-37-2111	0837-37-2567
三隅	窓口・健康福祉担当	759-3802	長門市三隅中1473 長門市三隅支所	0837-43-0221	0837-42-0555
油谷	窓口・健康福祉担当	759-4503	長門市油谷新別名 10803 油谷保健福祉センター	0837-33-3021	0837-33-3022
柳井市	健康福祉部 社会福祉課	742-8714	柳井市南町 1-10-2	0820-22-2111	0820-23-7566
美祢市	市民福祉部 福祉課 地域福祉班	759-2292	美祢市大嶺町東分 326-1	0837-52-5227	0837-52-1490
周南市	こども・福祉部 地域福祉課	745-8655	周南市岐山通 1-1	0834-22-8465	0834-22-8396
新南陽	市民福祉課	746-0025	周南市古市1-4-1 イオンタウン周南内 周南市新南陽総合支所	0834-61-4114	0834-61-4242
熊毛	市民福祉課	745-0663	周南市熊毛中央町 1-1 周南市熊毛総合支所	0833-92-0012	0833-92-0189
鹿野	市民福祉課	745-0302	周南市大字鹿野上 3277 周南市鹿野総合支所	0834-68-2332	0834-68-2104
山陽小野田市	福祉部 社会福祉課 地域福祉係	756-8601	山陽小野田市日の出 1-1-1	0836-82-1174	0836-81-5695
東部	柳井健康福祉センター 保健福祉・総務室	742-0031	柳井市南町 3-9-3 山口県柳井総合庁舎	0820-22-3777	0820-22-3895
周防大島町	健康福祉部 福祉課	742-2806	周防大島町大字西安下庄 3920-21	0820-77-5505	0820-77-5111
和木町	社会福祉協議会	740-0061	和木町和木 2-15-22	0827-52-8644	0827-53-2822
上関町	保健福祉課 社会福祉係	742-1402	上関町大字長島 448	0820-62-0184	0820-62-1541
田布施町	町民福祉課 福祉係	742-1592	田布施町大字下田布施 3440-1	0820-52-5810	0820-52-5967
平生町	町民福祉課 地域福祉班	742-1195	平生町大字平生町 210-1	0820-56-7113	0820-56-5603
阿武町	社会福祉協議会	759-3622	阿武町大字奈古 3081-5	08388-2-2615	08388-2-3615

救急法等講習実施状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

開催地	区分	救急法		水上安全法		雪上安全法		健康生活支援講習		幼児安全法		家庭あんま術	回数合計	受講人数
		基礎	救急員養成 短期	養成Ⅰ	養成Ⅱ	短期	短期	支援員養成	短期	支援員養成	短期			
下関市		2	1										30	999
宇部市		2	1								3		41	1,375
山口市		3	3					2		1	10		82	1,935
萩市		1	1										8	328
防府市		1	1										11	375
下松市											1		8	455
岩国市		2	1	1							2		55	1,576
光市											1		13	323
長門市													3	76
柳井市											4		10	195
美祢市													3	45
周南市		1	1								2		34	1,568
山陽小野田市		2	1								1	1	30	1,080
周防大島町													7	184
和木町													0	0
上関町													0	0
田布施町													3	64
平生町													5	156
阿武町													0	0
回数合計		14	10	1	0	0	0	2	0	1	24	1	343	-
受講人数		322	234	9	0	0	0	19	0	7	434	20	-	10,734

赤十字奉仕団一覽表

令和6年3月末現在

◎地域奉仕団

番号	奉仕団名	団員数	委員長名	結成年月日
1	下関市赤十字奉仕団	479	草野 和子	昭和50年6月11日
2	下関市菊川町赤十字奉仕団	76	林 幸子	昭和57年5月1日
3	下関市豊北赤十字奉仕団	277	大森 麻里子	平成2年3月30日
4	宇部市赤十字奉仕団	351	中野 リエ子	平成21年5月15日
5	山口市赤十字奉仕団	120	松永 君子	昭和32年9月20日
6	山口市徳地赤十字奉仕団	123	蕨 昭子	昭和62年7月10日
7	山口市小郡赤十字奉仕団	80	井上 美代子	昭和62年4月1日
8	山口市阿東赤十字奉仕団	200	松浦 富子	平成6年5月1日
9	萩市赤十字奉仕団	138	山下 清子	昭和43年8月23日
10	萩市川上赤十字奉仕団	19	横山 恵子	平成9年9月1日
11	萩市江崎赤十字奉仕団	89	嶋田 恵子	平成9年10月20日
12	萩市小川赤十字奉仕団	54	田村 悦代	平成9年10月20日
13	萩市むつみ赤十字奉仕団	28	藤井 美枝	平成8年4月1日
14	萩市須佐赤十字奉仕団	101	田村 光子	平成7年4月4日
15	萩市旭赤十字奉仕団	146	藤家 幸子	昭和55年9月1日
16	萩市福栄赤十字奉仕団	15	藤原 博行	令和2年10月1日
17	防府市赤十字奉仕団	352	山村 美津江	昭和36年4月13日
18	下松市赤十字奉仕団	383	古田 尊子	昭和32年4月1日
19	岩国市赤十字奉仕団	200	藤谷 允子	昭和56年2月1日
20	岩国市由宇町赤十字奉仕団	70	升田 雅子	昭和53年8月3日
21	岩国市玖珂町赤十字奉仕団	70	室口 美千子	平成7年4月1日
22	岩国市本郷町赤十字奉仕団	63	藤本 千壽恵	平成8年4月1日
23	岩国市周東町赤十字奉仕団	120	新谷 絹代	平成4年9月8日
24	岩国市美川町赤十字奉仕団	70	上村 康子	平成7年9月1日
25	岩国市美和町赤十字奉仕団	67	宇津本 ミドリ	平成9年1月31日
26	長門市赤十字奉仕団	156	長井 貞美	昭和57年4月1日
27	長門市三隅赤十字奉仕団	29	竹林 敏子	平成9年2月17日
28	長門市日置赤十字奉仕団	43	前原 喜久子	平成7年11月20日
29	長門市油谷赤十字奉仕団	8	森本 ミチコ	昭和56年4月1日
30	柳井市赤十字奉仕団	385	嬉 静恵	昭和29年10月1日
31	美祿市赤十字奉仕団	140	木島 和世	昭和48年9月1日

番号	奉仕団名	団員数	委員長名	結成年月日
32	周南市徳山赤十字奉仕団	82	石田 睦子	昭和39年10月10日
33	周南市熊毛赤十字奉仕団	60	佐久田 美智枝	平成9年5月1日
34	周南市鹿野赤十字奉仕団	60	有國 美恵子	平成3年4月1日
35	山陽小野田市赤十字奉仕団	540	岡部 つや子	昭和35年4月1日
36	周防大島町赤十字奉仕団	67	中元 みどり	平成26年4月1日
37	和木町赤十字奉仕団	149	藤本 亮恵	平成7年9月1日
38	上関町赤十字奉仕団	300	藤本 壽代	昭和63年9月1日
39	田布施町赤十字奉仕団	500	中原 和枝	昭和63年9月1日
40	平生町赤十字奉仕団	754	山田 博子	令和3年9月1日
41	阿武町赤十字奉仕団	307	藤田 恒代	平成7年7月27日
	合計 41 団	7,271		

◎青年奉仕団

番号	奉仕団名	団員数	委員長名	結成年月日
1	宇部青年赤十字奉仕団	12	徳田 文範	昭和39年4月1日
2	山口大学学生赤十字奉仕団	35	保田 健太	昭和47年6月22日
3	山口県立大学学生赤十字奉仕団	25	姉川 明日美	平成29年2月15日
	合計 3 団	72		

◎特殊奉仕団

番号	奉仕団名	団員数	委員長名	結成年月日
1	山口県赤十字安全奉仕団	148	大立 浩嗣	昭和60年4月5日
2	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団	89	上利 雅幸	平成2年3月25日
3	山口県青少年赤十字賛助奉仕団	37	有馬 重人	平成15年6月10日
4	岩国赤十字災害救護奉仕団	39	松井 謙治	平成15年7月22日
5	山口県赤十字防災奉仕団	49	藤本 浩志	平成18年4月22日
	合計 5 団	362		

◎個人ボランティア(山口赤十字病院)

番号	人数
1	32



山口県青少年赤十字加盟園・校一覧

令和6年3月31日現在

1. 保育園

連番	保育園名	
1	岩国市	清 華
2		ひ ろ せ
3	山口市	きらきら星
計	3園	

幼保 20園
 小学校 104校
 中学校 32校
 高等学校 35校
 総合支援学校 1校
 計 192園・校

2. 幼稚園

連番	幼稚園名	
1	岩国市	岩 国 南
2	山口市	宮 野
3		吉 敷
4		平 川
5		山口みなみこども園
6		仁 保
7		小 鯖
8		大 内
9		山口県鴻城高等学校付属
10		阿 知 須

連番	幼稚園名	
11	山口市	野田学園
12		藤村学園旭
13		亀 山
14		明 星
15		山口中央
16	下関市	もみじ学園
17	萩市	萩
計	17園	

3. 小学校

連番	小学校名		連番	小学校名		連番	小学校名	
1	岩国市立	小 瀬	37	光市立	上 島 田	73	防府市立	勝 間
2		御 庄	38		浅 江	74		向 島
3		藤 河	39		光 井	75		中 関
4		杭 名	40		周 防	76		華 城
5		河 内	41		塩 田	77		小 野
6		通 津	42		三 輪	78		右 田
7		岩 国	43		岩 田	79		大 道
8		装 港	44		東 荷	80		厚 東
9		川 下	45		櫛 浜	81		二 俣 瀬
10		愛 宕	46	菊 川	82	小 野		
11		灘	47	岐 山	83	小 羽 山		
12		由 西	48	須 磨	84	黒 石		
13		そ お	49	周 陽	85	吉 部		
14		川 上	50	桜 木	86	小 野 田		
15		修 成	51	秋 月	87	本 山		
16		周 北	52	鼓 南	88	赤 崎		
17		錦 清 流	53	富 田 東	89	厚 保		
18		美 和 東	54	福 川	90	於 福		
19		美 和 西	55	三 丘	91	豊 田 前		
20	和木町立	和 木	56	高 水	92	秋 吉		
21	柳井市立	日 積	57	大 河 内	93	養 治		
22		柳 井	58	八 代	94	名 陵		
23		伊 陸	59	大 殿	95	関 西		
24		柳 井 南	60	湯 田	96	清 末		
25		柳 東	61	良 城	97	豊 浦		
26	周防大島町立	島 中	62	平 川	98	吉 見		
27	平生町立	佐 賀	63	嘉 川	99	小 串		
28	下松市立	下 松	64	興 進	100	宇 賀		
29		久 保	65	佐 山	101	吉 田		
30		公 集	66	仁 保	102	垢 田		
31		豊 井	67	小 郡	103	椿 東		
32		花 岡	68	大 海	104	佐 々 並		
33		中 村	69	阿 知 須	計	104校		
34		東 陽	70	島 地				
35		室 積	71	柚 野 木				
36	光市立	島 田	72	防府市立	富 海			

4. 中学校

連番	中学校名	
1	岩国市立	灘
2	和木町立	和 木
3	柳井市立	柳 井
4		大 島
5	下松市立	末 武
6	周南市立	鹿 野
7		鼓 南
8	山口市立	大 殿
9		白 石
10		湯 田
11		鴻 南
12		平 川
13		小 郡
14		秋 穂
15		川 西
16	防府市立	富 海
17		国 府
18		小 野
19		大 道

連番	中学校名	
20	宇部市立	黒 石
21	山陽小野田市立	竜 王
22	美祢市立	厚 保
23		秋 芳
24	下関市立	安 岡
25		豊 北
26	萩市立	越ヶ 浜
27		須 佐
28		旭
29	長門市立	仙 崎
30		三 隅
31		菱 海
32	阿武町立	阿 武
	計	32校

5. 高等学校

連番	高等学校名
1	熊 毛 南
2	光
3	聖 光
4	華 陵
5	下松工業
6	徳 山
7	新 南 陽
8	徳山商工
9	南陽工業
10	防 府
11	防府高校佐波分校
12	防 府 西
13	防府商工
14	高川学園
15	山 口
16	山口高校徳佐分校
17	山口中央
18	西 京
19	中村女子
20	山口県鴻城

連番	高等学校名
21	萩
22	萩 商 工
23	宇部中央
24	宇 部 西
25	宇部商業
26	宇部工業
27	宇部フロンティア大学付属香川
28	小 野 田
29	豊 浦
30	長 府
31	下 関 西
32	下 関 南
33	下 関 北
34	下関工科
35	下関商業
計	35校

6. 総合支援学校

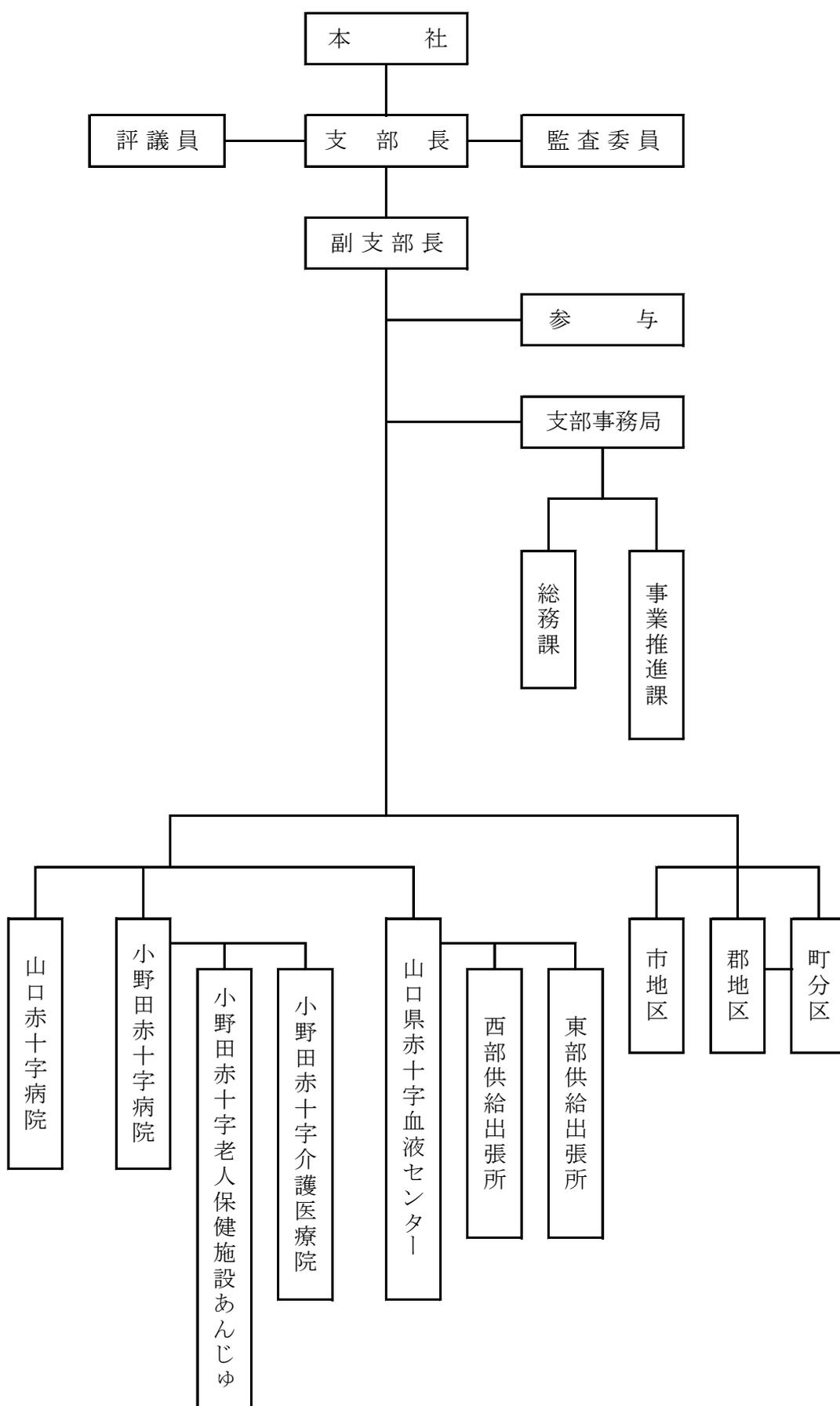
連番	総合支援学校名
1	山口南総合
計	1 校

令和5年度 活動資金募集進展状況表

令和5年4月1日～令和6年3月31日

地区名	一 般			法 人			合 計		
	目標額 千円	実績額 円	達成率 %	目標額 千円	実績額 円	達成率 %	目標額 千円	実績額 円	達成率 %
下関市	33,372	25,670,962	76.9	3,296	3,720,737	112.9	36,668	29,391,699	80.2
宇部市	21,157	19,932,590	94.2	2,027	2,142,000	105.7	23,184	22,074,590	95.2
山口市	26,180	24,372,366	93.1	2,515	3,253,000	129.3	28,695	27,625,366	96.3
萩・阿武	5,915	4,826,827	81.6	529	518,000	97.9	6,444	5,344,827	82.9
防府市	14,367	13,990,520	97.4	1,399	1,082,000	77.3	15,766	15,072,520	95.6
下松市	7,297	7,274,197	99.7	747	752,000	100.7	8,044	8,026,197	99.8
岩国市	16,800	14,206,070	84.6	1,454	1,499,000	103.1	18,254	15,705,070	86.0
光市	6,318	8,244,901	130.5	515	710,000	137.9	6,833	8,954,901	131.1
長門市	4,043	4,982,400	123.2	398	308,000	77.4	4,441	5,290,400	119.1
柳井市	4,043	5,147,960	127.3	412	364,000	88.3	4,455	5,511,960	123.7
美祢市	2,713	3,806,150	140.3	284	293,000	103.2	2,997	4,099,150	136.8
周南市	18,620	12,859,887	69.1	2,937	2,151,214	73.2	21,557	15,011,101	69.6
山陽小野田市	7,630	6,365,950	83.4	925	757,000	81.8	8,555	7,122,950	83.3
地区計	168,455	151,680,780	90.0	17,438	17,549,951	100.6	185,893	169,230,731	91.0
周防大島町	1,960	3,023,200	154.2	137	105,000	76.6	2,097	3,128,200	149.2
和木町	700	761,500	108.8	110	821,260	746.6	810	1,582,760	195.4
上関町	332	371,000	111.7	41	40,000	97.6	373	411,000	110.2
田布施町	1,750	2,387,150	136.4	148	120,000	81.1	1,898	2,507,150	132.1
平生町	1,400	1,819,100	129.9	97	120,000	123.7	1,497	1,939,100	129.5
阿武町	403	658,500	163.4	29	60,000	206.9	432	718,500	166.3
分区計	6,545	9,020,450	137.8	562	1,266,260	225.3	7,107	10,286,710	144.7
支部	5,000	18,263,345	365.3	2,000	16,727,162	836.4	7,000	34,990,507	499.9
合 計	180,000	178,964,575	99.4	20,000	35,543,373	177.7	200,000	214,507,948	107.3

日本赤十字社山口県支部組織図



山口県支部の情報はこちら



ホームページ



〒753-0094 山口市野田 172-5
TEL 083-922-0102 FAX 083-932-3615 MAIL info@yamaguchi.jrc.or.jp